

滋賀県草津市

令和5年度

当初予算概要



ひと・まち・ときをつなぐ

絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津

# 目次

会計別予算規模	1
一般会計款別総括表	2
一般会計性質別一覧表	3
予算編成方針（抜粋）	4
第6次草津市総合計画 第1期基本計画リーディング・プロジェクト	5
<b>主な事業の概要</b>	
➤ リーディング・プロジェクト事業の概要	
『未来を担う子ども育成プロジェクト』	6
『地域の支え合い推進プロジェクト』	17
『にぎわい・再生プロジェクト』	30
『暮らしの安全・安心向上プロジェクト』	47
➤ その他主要な事業の概要	
行財政マネジメント	56
<b>別冊資料</b>	
令和5年度 当初予算の特徴	

## ◎令和5年度 会計別予算規模

(単位：千円 %)

会 計 名		令 和 5 年 度 当 初			令 和 4 年 度 当 初		増 減 額
		予 算 額	構 成 比	対 前 年 比	予 算 額	構 成 比	
一 般 会 計		54,820,000	61.6	3.2	53,110,000	61.0	1,710,000
特 別 会 計	国民健康保険事業	11,502,300	12.9	△ 0.3	11,541,500	13.3	△ 39,200
	財産区	411,600	0.5	189.2	142,300	0.2	269,300
	学校給食センター	1,134,700	1.3	8.2	1,049,100	1.2	85,600
	介護保険事業	9,576,300	10.8	△ 0.3	9,601,600	11.0	△ 25,300
	後期高齢者医療	1,747,700	2.0	1.9	1,715,800	2.0	31,900
	水道事業	4,014,000	4.5	0.7	3,986,000	4.6	28,000
	下水道事業	5,818,000	6.4	△ 1.0	5,874,000	6.7	△ 56,000
	特別会計の計	34,204,600	38.4	0.9	33,910,300	39.0	294,300
合 計		89,024,600	100.0	2.3	87,020,300	100.0	2,004,300

◎令和5年度 一般会計款別総括表

(単位：千円 %)

科 目	令和5年度当初			令和4年度当初		増減額
	予算額	構成比	対前年比	予算額	構成比	
1. 市税	24,987,470	45.6	4.5	23,910,138	45.0	1,077,332
2. 地方譲与税	313,000	0.6	△ 2.2	320,000	0.6	△ 7,000
3. 利子割交付金	16,000	0.0	△ 20.0	20,000	0.0	△ 4,000
4. 配当割交付金	167,000	0.3	70.4	98,000	0.2	69,000
5. 株式等譲渡所得割交付金	112,000	0.2	△ 30.9	162,000	0.3	△ 50,000
6. 法人事業税交付金	482,000	0.9	10.6	436,000	0.8	46,000
7. 地方消費税交付金	3,480,000	6.3	12.6	3,090,000	5.8	390,000
8. 環境性能割交付金	55,000	0.1	3.8	53,000	0.1	2,000
9. 地方特例交付金	191,535	0.3	△ 0.8	193,000	0.4	△ 1,465
10. 地方交付税	1,855,000	3.4	△ 15.1	2,184,000	4.1	△ 329,000
11. 交通安全対策特別交付金	16,138	0.0	△ 2.5	16,551	0.0	△ 413
12. 分担金及び負担金	338,320	0.6	△ 6.7	362,694	0.7	△ 24,374
13. 使用料及び手数料	1,126,210	2.1	13.8	989,279	1.9	136,931
14. 国庫支出金	10,285,624	18.8	5.8	9,724,402	18.3	561,222
15. 県支出金	4,443,117	8.1	△ 0.7	4,473,681	8.4	△ 30,564
16. 財産収入	131,872	0.2	△ 0.1	132,047	0.3	△ 175
17. 寄附金	615,664	1.1	36.6	450,595	0.8	165,069
18. 繰入金	1,977,397	3.6	54.1	1,283,108	2.5	694,289
19. 繰越金	1	0.0	0.0	1	0.0	0
20. 諸収入	851,252	1.6	△ 0.6	856,804	1.6	△ 5,552
21. 市債	3,375,400	6.2	△ 22.5	4,354,700	8.2	△ 979,300
歳 入 合 計	54,820,000	100.0	3.2	53,110,000	100.0	1,710,000
1. 議会費	300,715	0.6	0.5	299,140	0.6	1,575
2. 総務費	5,723,522	10.5	3.4	5,533,706	10.4	189,816
3. 民生費	24,457,601	44.6	4.2	23,461,146	44.2	996,455
4. 衛生費	3,455,046	6.3	△ 0.6	3,475,810	6.5	△ 20,764
5. 労働費	188,913	0.3	75.9	107,426	0.2	81,487
6. 農林水産業費	493,425	0.9	△ 0.6	496,236	0.9	△ 2,811
7. 商工費	230,103	0.4	△ 7.7	249,427	0.5	△ 19,324
8. 土木費	8,282,102	15.1	9.4	7,569,960	14.3	712,142
9. 消防費	1,551,213	2.8	3.9	1,493,266	2.8	57,947
10. 教育費	5,327,340	9.7	0.4	5,306,637	10.0	20,703
11. 公債費	4,540,020	8.3	△ 6.3	4,847,246	9.1	△ 307,226
12. 諸支出金	170,000	0.3	0.0	170,000	0.3	0
13. 予備費	100,000	0.2	0.0	100,000	0.2	0
歳 出 合 計	54,820,000	100.0	3.2	53,110,000	100.0	1,710,000

◎令和5年度 一般会計性質別一覧表

(単位：千円 %)

科 目	令 和 5 年 度 当 初			令 和 4 年 度 当 初		増 減 額
	予 算 額	構 成 比	対 前 年 比	予 算 額	構 成 比	
人件費	8,697,899	15.9	0.5	8,651,686	16.3	46,213
扶助費	15,302,459	27.9	4.0	14,718,530	27.7	583,929
公債費	4,540,020	8.3	△ 6.3	4,847,246	9.1	△ 307,226
物件費	8,006,281	14.6	5.6	7,579,963	14.3	426,318
維持補修費	390,935	0.7	4.1	375,655	0.7	15,280
補助費等	6,013,375	11.0	7.3	5,602,257	10.6	411,118
積立金	631,889	1.1	31.2	481,792	0.9	150,097
投資及び出資金	165,170	0.3	67.8	98,423	0.2	66,747
貸付金	338,988	0.6	0.0	338,906	0.6	82
繰出金	3,997,691	7.3	△ 1.2	4,044,331	7.6	△ 46,640
普通建設事業費	6,635,293	12.1	5.8	6,271,211	11.8	364,082
(1)補助事業費	4,010,690	7.3	△ 3.3	4,146,385	7.8	△ 135,695
(2)単独事業費	2,554,515	4.7	26.6	2,018,437	3.8	536,078
(3)県営事業負担金	70,088	0.1	△ 34.1	106,389	0.2	△ 36,301
予備費	100,000	0.2	0.0	100,000	0.2	0
歳 出 合 計	54,820,000	100.0	3.2	53,110,000	100.0	1,710,000

歳 入	自主財源	30,028,186	54.8	7.3	27,984,666	52.7	2,043,520
	依存財源	24,791,814	45.2	△ 1.3	25,125,334	47.3	△ 333,520
	歳入合計	54,820,000	100.0	3.2	53,110,000	100.0	1,710,000
歳 出	義務的経費	28,540,378	52.1	1.1	28,217,462	53.1	322,916
	投資的経費	6,635,293	12.1	5.8	6,271,211	11.8	364,082
	その他経費	19,644,329	35.8	5.5	18,621,327	35.1	1,023,002
	歳出合計	54,820,000	100.0	3.2	53,110,000	100.0	1,710,000

# 令和5年度予算編成方針（抜粋）

## ～第6次草津市総合計画が目指す将来のまちの姿～

### ➤ 「第6次草津市総合計画」を念頭に置いた予算見積り

「第6次草津市総合計画」に掲げる以下の“まちづくりの基本目標”を念頭に置き、各分野において効果的に目標が達成されるように予算見積りを行うとともに、施策評価を反映した見積り内容とすること。

#### 第6次草津市総合計画 まちづくりの基本目標

(1)「こころ」育むまち	(2)「笑顔」輝くまち	(3)「暮らし」支えるまち
(4)「魅力」あふれるまち	(5)「未来」への責任	

### ➤ リーディング・プロジェクトへの戦略的な財源配分

歳出全体の徹底した洗い直しや、制度・施策の抜本的な見直し、優先順位の厳しい選択により、限られた財源の戦略的に配分を行うため特別枠を設ける。

### ➤ 「健幸都市」づくりの推進

「第6次草津市総合計画」の基本構想において、将来に描くまちの姿として、いつまでも活気にあふれ、住む人、訪れる人、誰もが“健幸”になれるまちである“健幸創造都市”を掲げていることを踏まえ、市民等が「健幸づくり」に取り組むことのきっかけづくりや、ハード・ソフト両面で必要な環境づくりを推進することで、健幸都市の実現につながる予算見積りとする。

### ➤ 「ゼロカーボンシティくさつ」実現に向けての取組

議会と共同で草津市気候非常事態（ゼロカーボンシティ）宣言を行ったことから、「ゼロカーボンシティくさつ」の実現に向けて脱炭素施策の展開を図り、従来の環境施策の枠組みを超え、より積極的かつ実効性のある脱炭素施策を見据えた予算見積りとする。

### ➤ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた予算見積り

新型コロナウイルス感染症への対応と、財政状況の悪化に対応していくためには、既存事業について、これまで以上の選択と集中が求められることから、施策の優先順位の洗い直しや、無駄を徹底して排除するなど、物理的に事業量および事業費の削減を含めた予算見積りを行うこと。

### ➤ 健全財政の維持

今後も健全で持続可能な財政運営を維持していくため、「財政規律ガイドライン」に示した各種財政指標の数値目標を達成するための取組を反映した上で、予算を見積もること。

### ➤ 行政経営改革の推進

これまで以上に経営的な視点を意識し、限られた経営資源を活用しながら、効果的・効率的に市民目線に立った行政サービスの提供に取り組むため、漫然と既存事業を継続するのではなく、市全体を俯瞰し、時代の変化を捉え、長期的な視点で財政負担の抑制と職員の負担軽減を意識しながら、積極的に事業の廃止を含めた見直しを行うこと。また、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進の観点から、自治体情報システムの標準化・共通化、AI・RPA等の先端技術を活用した業務プロセスの再構築および行政手続きのオンライン化の拡大等、市民サービスの向上と行政サービスの効率化を積極的に推進すること。

### ➤ 現場主義の徹底

地域社会の課題解決を図るために現場の声を十分に聴き、現状を正確に把握した上で、予算を見積もること。

# 第6次草津市総合計画 第1期基本計画 リーディング・プロジェクト（重点方針）

将来ビジョン

ひと・まち・ときをつなぐ

絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津

未来を担う子ども育成プロジェクト

地域の支え合い推進プロジェクト

にぎわい・再生プロジェクト

暮らしの安全・安心向上プロジェクト

## ◆ リーディング・プロジェクト（重点方針）の位置付けと方向性

第6次草津市総合計画の将来ビジョンである「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津」では、人と人、人から地域、まちへと“つながり”が広がることで生まれる“絆”をつむぐことで、草津市が、ときを重ねても、誰からも愛される“ふるさと”となり、また、住む人、訪れる人、誰もが“健幸”になれるまちを市民とともに創造していくことを目指しています。

第1期基本計画では、将来ビジョンの実現に向けて、草津市のまちづくりを先導・けん引する4つのリーディング・プロジェクトを重点方針として位置付け、分野横断的な施策展開を図っていくものとします。

また、リーディング・プロジェクトの推進にあたっては、第1期基本計画期間中は、統一テーマとして展開するため、予算編成方針等に一貫した方向性を持たせるものとし、関連する施策・事業については、毎年実施する評価の中で、課題の見直しとさらなる推進に向けた改善を図っていきます。

## 主な事業の概要

### ▶ 『未来を担う子ども育成プロジェクト』

子ども・若者育成支援推進費	6
民設児童育成クラブ施設整備費補助金	7
（仮称）草津市こども計画策定費	8
出産・子育て応援事業費	9
看護師（体調不良児対応型）配置費補助金	10
保育体制強化補助金	11
小・中学校大規模改修費	12
読書のまち推進費	13
スクールE S Dくさつ推進費	14
教育情報化推進費	15
不登校児童生徒支援費	16

### ▶ 『地域の支え合い推進プロジェクト』

健幸都市づくり推進費（共同研究）	17
健幸都市づくり推進費（広報・啓発等）	18
多機関協働等事業費	20
地域まちづくりセンター整備費	22
基幹相談支援センター運営費	23
第3次草津市障害者計画・第7期草津市障害福祉計画・ 第3期草津市障害児福祉計画策定費	24
子宮頸がん予防ワクチン接種費	25
がん検診受診率向上事業費	26
常盤団地長寿命化事業費	27
（仮称）新志津運動公園整備費	28
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ準備費	29

### ▶ 『にぎわい・再生プロジェクト』

烏丸半島中央部複合型観光集客施設事業費	30
草津市産業振興計画推進費	31
第2次草津市農業振興計画推進費	32
道の駅草津リノベーション推進費	33
馬場山寺基盤整備費	34
立地適正化計画改定費	35
景観計画改定費	36
東海道沿道無電柱化整備費	37
草津PAと連携した拠点整備基本計画策定費	38



## ▶ 『にぎわい・再生プロジェクト』 つづき

地域公共交通活性化推進費	39
草津駅西口自転車駐車場建替事業費	40
ロクハ公園プール検討費	41
草津川跡地整備費・公園運営費	42
（仮称）草津市立プール整備費	43
史跡草津宿本陣整備費	44
史跡芦浦観音寺跡整備費	45
資料館整備基本構想策定費	46

## ▶ 『暮らしの安全・安心向上プロジェクト』

子ども見守り防犯カメラ設置事業費	47
個別避難計画作成費	48
草津栗東行政事務組合負担金（火葬場整備）	49
ゼロカーボンシティくさつ推進費	50
指定ごみ袋制度見直し事業費、ごみ袋無料配布等事業費	51
大路野村線整備費	52
大江霊仙寺線（南笠工区）整備費	53
ロクハ浄水場浸水対策費	54
北山田浄水場耐震補強・浸水対策費	55

## ▶ 行財政マネジメント

第6次総合計画第2期基本計画策定費	56
DX・ICT等利活用推進費	57
公共施設包括管理業務費	58
事務事業の整理合理化	59

# 未来を担う子ども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	子ども・若者育成支援推進費		区分	拡大
令和5年度 事業費	担当部局・所属		子ども未来部	
	子ども家庭・若者課			
	財源内訳			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他
10,221	4,799	324		5,098

## <事業の概要>

近年の社会環境の変化により、不登校やひきこもり、若年無業者(ニート)、ヤングケアラーや子どもの貧困等、様々な困難や課題に対応できずにいる子ども・若者が増加しています。

こうした子ども・若者を適切な支援につなげるため、子ども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めや子ども・若者支援協議会の運営に継続して取り組むとともに、子ども・若者ケアラー(※)への支援、不登校やひきこもり等の課題に対する居場所の設置等を通じて、困難を抱える子ども・若者や家族の自立を支援します。

## 【主な内容】

- ・子ども・若者ケアラー家庭支援モデルの検討  
(家事ヘルパーの派遣、配食サービス利用、通訳の派遣などを検討・試行)
- ・子ども・若者を対象とする居場所の設置、運営

### ※子ども・若者ケアラー

ヤングケアラーは一般的に18歳未満ですが、18歳を超えてからもケアの役割を担い続ける場合があるため、20歳代の若者も含めて子ども・若者ケアラーとして支援します。

## <事業の目的・効果>

子ども・若者が抱える多様な問題について、関係機関と相互に協力しながら取り組むことで、全ての子ども・若者が健やかに成長し、安心して暮らせる社会を目指します。

経費の内訳	
会計年度任用職員費	3,592
臨床心理士報償費	750
子ども・若者支援協議会運営費	130
子ども・若者ケアラー家庭支援 モデル検討事業費	621
子ども・若者の居場所運営委託費	4,267
その他事務費	861



# 未来を担う子ども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	民設児童育成クラブ施設整備費補助金		区分	拡大
令和5年度 事業費	担当部局・所属		子ども未来部	
			子ども・若者政策課	
	財源内訳			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他
5,000	1,666	1,666		1,668

## <事業の概要>

児童数の増加や子育て世代の就業率の上昇に伴い、児童育成クラブの利用者は増加傾向にあります。そのため、受け入れ定員の拡大および多様な保護者のニーズに対応するため、民設民営による児童育成クラブの開設を支援します。

## 【主な内容】

民設児童育成クラブ施設整備費補助金 2か所

開設予定の小学校区については、児童数や申込数の状況を検証した上で決定します。

## 【スケジュール】

令和5年度 公募により設置・運営者の決定、施設整備および補助金交付

令和6年4月 開設予定

## 【開設実績】

令和3年度 志津小学校区、草津第二小学校区、渋川小学校区、玉川小学校区

令和4年度 志津小学校区

令和5年度 志津小学校区、老上小学校区

## <事業の目的・効果>

民設民営による児童育成クラブを新たに開設し、受け入れ定員を拡大するとともに、多様な保護者のニーズに対応します。これにより、保護者の就労と子育ての両立を支援し、また、放課後の適切な遊びや生活指導等を通して、児童の心身の健全な育成を図ります。

		経費の内訳	
		施設整備費補助金	5,000

# 未来を担う子ども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	(仮称)草津市子ども計画策定費		区分	新規
令和5年度 事業費	担当部局・所属		子ども未来部	
			子ども・若者政策課	
	財源内訳			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他
7,766				7,766

## <事業の概要>

国においては、こども施策を総合的に推進するため、令和5年4月に施行されるこども基本法に基づき、「こども大綱」の策定に向けて取り組まれているところですが、同法に、市町村は、「こども大綱」を勘案して「市町村こども計画」を定めるよう努めるものと規定されています。

現在、本市では、「第二期草津市子ども・子育て支援事業計画」と「草津市子ども・若者計画」の2つの計画(いずれの計画期間も令和2年度から令和6年度まで)を策定していますが、「市町村こども計画」は、これら2つの計画と一体のものとして策定できることから、令和7年度からの次期計画を策定するにあたり、これらを一体にした「(仮称)草津市こども計画」策定の検討、準備を進めます。

令和5年度は、本市の子育てに関するニーズ調査、若者の現状や実態等の把握や、こどもへの意見聴取のためのアンケート調査を行い、次期計画の内容の検討を行います。

## 【主な内容】

令和5年度

草津市子ども・子育て会議の開催、ニーズ調査、アンケート調査の実施 など

令和6年度

草津市子ども・子育て会議の開催、計画案の策定、パブリック・コメントの実施 など

## <事業の目的・効果>

市内在住の子育て世帯や18歳から39歳までの若者、関係団体等にアンケート調査を実施し、本市の現状やニーズを踏まえた計画を策定します。

(仮称)草津市こども計画	経費の内訳
<ul style="list-style-type: none"> <li>● こども基本法に基づく計画</li> </ul>	子ども・子育て会議運営費 1,179
<p><b>+</b> 一体のものとしての策定の検討・準備</p>	(仮称)草津市こども計画 策定業務委託費 5,522
<p>第2期草津市子ども・子育て支援事業計画の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子ども・子育て支援法に基づく計画</li> <li>● 次世代育成支援対策推進法に基づく計画</li> <li>● 子どもの貧困対策法に基づく計画</li> </ul>	ニーズ調査費 1,065
<p>草津市子ども・若者計画の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子ども・若者育成支援推進法に基づく計画</li> </ul>	(債務負担行為) 令和6年度 (仮称)草津市こども計画 策定業務委託費 5,700

# 未来を担う子ども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	出産・子育て応援事業費			区分	新規
令和5年度 事業費	担当部局・所属 子ども未来部			子育て相談センター	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
138,186	89,694	22,012			26,480

## <事業の概要>

### ○出産・子育て応援事業費

妊娠届出時より妊婦や低年齢期の子育て家庭に寄り添い、面談や継続的な情報発信等を行い、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実と、妊娠届出や出生届出を行った妊産婦等に出産育児等の経済的支援を一体的に実施します。

- ・伴走型相談支援:①妊娠届出時、②妊娠8か月前後、③出生届出提出後の時期に面談実施
- ・経済的支援:①妊婦一人当たり5万円、②児童一人当たり5万円

### ○低所得妊婦初診料補助金

低所得の妊婦の初回産科受診料の一部を支援します。

- ・支給対象…住民税非課税世帯または同等の水準にある妊婦
- ・支給額…妊婦一人当たり1万円(上限)

### ○産婦健康診査事業費

産後間もない時期の産婦に対する健康診査の費用を支援し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の充実を図ります。

- ・支給額…産婦一人当たり1回5千円(上限)を2回まで

## <事業の目的・効果>

出産・子育てに対する経済的支援や相談体制を強化することで、切れ目のない支援の充実を図ります。



## 経費の内訳

### 【出産・子育て応援事業費】

会計年度任用職員費 (伴走型相談支援)	7,906
出産・子育て応援給付金	120,000
その他事務費	1,694

### 【低所得妊婦初診料補助金】

50

### 【産婦健康診査事業費】

産婦健康診査費	8,397
その他事務費	139

# 未来を担う子ども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	看護師(体調不良児対応型)配置費補助金		区分	新規
令和5年度 事業費	担当部局・所属		子ども未来部	
			幼児施設課	
	財源内訳			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他
87,594	29,197	29,197		29,200

## <事業の概要>

近年、共働き世帯の増加に伴い保育の需要が増える中、体調が変化しやすい乳幼児への適切な初動対応の重要性は高まりつつあります。

けがや発熱など保育中の児童が「体調不良」となった場合や児童全体の健康管理・衛生管理等の保健的な対応を日常的に行う専任の看護師の配置について民間保育所等へ支援することで、安全かつ安心な保育体制の確保を図ります。

## 【補助基準額等】

- ・補助基準額  
1施設当たり 年額4,492千円
- ・対象施設  
民間保育所・認定こども園

## <事業の目的・効果>

民間保育所等において、児童の心身の健康に配慮し、保育中の体調不良に適切に対応するために、専任の看護師を配置することで、より安心して保護者が児童を保育施設に預けることができるとともに、新型コロナウイルス感染症への対応など、業務負担が増加している保育士の負担軽減を図ります。

		経費の内訳	
		看護師(体調不良児対応型) 配置費補助金	87,594

# 未来を担う子ども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	保育体制強化補助金			区分	拡大
令和5年度 事業費	担当部局・所属 子ども未来部			幼児施設課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
49,159		36,847			12,312

## <事業の概要>

園外活動時における児童の事故を防止するため、見守り等を行う保育支援者の配置対象施設に、従来の民間の保育所および認定こども園に、小規模保育施設、家庭的保育施設を追加します。  
また、通常の保育に係る周辺業務を行う保育支援者の配置に加え、登園時の繁忙な時間帯やプール活動時など一部の時間帯にスポット的に支援者(スポット支援員)を配置する場合についても、新たに支援の対象とします。

## 【補助基準額等】

区分	主な業務内容	補助基準額(月額)	保育所 こども園	小規模	家庭的
保育支援者の配置	清掃業務や遊具の消毒 給食の配膳 寝具の用意、片付け など	100千円	継 続	—	—
	児童の園外活動時の見守り	45千円	継 続	拡 大	拡 大
スポット支援員の配置	登園時の繁忙時間帯 プール活動時 など	45千円	拡 大	拡 大	拡 大

## <事業の目的・効果>

通常の保育にかかる周辺業務を行う支援者の配置に加え、園外活動時における児童の事故の防止および登園時の繁忙時間帯やプール活動時などに支援者を配置することで、保育士の業務負担の軽減を図るとともに、安全かつ安心な保育体制を確保することができます。

		経費の内訳	
		内容	金額
	<b>【民間保育所・認定こども園】</b>		
	(継続)保育支援者の配置		35,735
	(拡大)スポット支援員の配置		4,140
	<b>【小規模保育事業】</b>		
	(拡大)園外活動時の見守り		4,289
	(拡大)スポット支援員の配置		4,050
	<b>【家庭的保育事業】</b>		
	(拡大)園外活動時の見守り		540
	(拡大)スポット支援員の配置		405

# 未来を担う子ども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	小・中学校大規模改修費			区分	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属 教育委員会			教育総務課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
263,851	40,073		160,300	繰 51,000	12,478

## <事業の概要>

建築後、相当年数が経過した校舎等の学校施設の改修を計画的に実施するとともに、校舎の非構造部材(天井、窓ガラス、内外装材等)の耐震対策を行います。

### 【トイレ改修工事】 100,349千円

- ・南笠東小学校トイレ改修工事 2か所、工事監理業務
- ・志津南小学校体育館トイレ改修工事 1か所、工事監理業務
- ・玉川中学校特別教室棟・体育館トイレ改修工事実施設計業務

### 【非構造部材改修工事】 17,555千円

- ・松原中学校非構造部材改修1期工事 約3,294㎡、工事監理業務

### 【グラウンド改修工事】 119,107千円

- ・新堂中学校グラウンド改修工事 約15,714㎡、工事監理業務
- ・笠縫小学校グラウンド改修工事実施設計業務

### 【長寿命化改良事業】 26,840千円

- ・南笠東小学校予防改修工事実施設計業務
- ・笠縫小学校長寿命化改修基本計画策定業務
- ・高穂中学校施設保全計画策定業務

## <事業の目的・効果>

学校施設の改修・更新・予防保全を進めることで教育環境の改善を図るとともに、非構造部材の耐震対策を行うことにより、学校施設の安全性を確保します。

<参考> 令和4年度 松原中学校校舎棟トイレ改修工事



## 経費の内訳

南笠東小・志津南小体育館 トイレ改修工事費・監理費	95,392
松原中 非構造部材改修工事費・監理費	17,555
新堂中 グラウンド改修工事費・監理費	113,053
南笠東小 予防改修工事実施設計費	17,600
笠縫小 長寿命化改修基本計画策定業務委託費	3,960
高穂中 施設保全計画策定業務委託費	5,280
その他実施設計費	11,011



# 未来を担う子ども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	読書のまち推進費			区分	新規
令和5年度 事業費	担当部局・所属 教育委員会			図書館・教育総務課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
53,018					53,018

## <事業の概要>

令和4年度の南草津図書館開館20周年に続き、令和5年度の図書館(本館)開館40周年記念を迎えるにあたって、より多くの市民に図書館を活用いただけるよう絵本・児童書コーナーのリニューアルや読書空間の確保等を行うとともに、図書館アプリの導入や小中学校・就学前施設等との連携強化に取り組み、市域全体での読書推進事業を実施します。

## 【主な内容】

### <草津市立図書館開館40周年記念事業>

- ・セレモニーや記念講演会の開催
- ・図書館(本館)の絵本・児童書コーナーのリニューアル

### <図書館の魅力向上事業>

- ・読書空間と学習スペースの整備
- ・図書館アプリの導入

### <読書活動啓発事業>

- ・小中学校の児童生徒向け読書ポイント事業
- ・移動図書館による学校巡回
- ・学校図書館の図書充実
- ・就学前施設連携事業

## <事業の目的・効果>

老若男女問わず、より多くの市民に活用され親しまれる図書館の具現化を目指します。  
特に、子どもの読書推進は、豊かな心と確かな学力を育むことにつながることから、幼児期から学齢期において、読書に親しめる機会を増やす事業を実施することで、昨今増加傾向にある不読率の低減に努めます。



## 経費の内訳

40周年記念事業費(講演会等)	1,532
絵本・児童書コーナーリニューアル費	9,935
読書空間・学習スペース整備費	24,902
図書館アプリ導入費	1,705
読書ポイント事業費	1,720
移動図書館推進費(車両購入等)	7,158
小中学校・就学前施設連携事業費(図書購入等)	6,066

# 未来を担う子ども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	スクールESDくさつ推進費			区分	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属 教育委員会			学校教育課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,882					5,882

## <事業の概要>

子どもたちが身の回りの事象を地球規模で考え、他者と協働して身近なことから行動することにより自己肯定力ややり抜く力、主体性・探究性・協働性・社会性を養うため、「総合的な学習の時間」を中心に、地域と学校に共通する課題解決のために、教科で学んだ知識を活用して、地域と協働して学習する「スクールESDくさつ」プロジェクトを市内小中学校で実施します。

## 【スケジュール】

令和5年度 モデル校3校での実践と検証  
 令和5年度～6年度 教育委員会にESDアドバイザーを配置し、学校指導および検証分析  
 令和6年度～12年度 すべての全市立小中学校での実践

## 【主な内容】

- ・モデル校3校によるESDの実践と検証
- ・各校のテーマに沿ったカリキュラム編成
- ・SDGsの学びを深めるための立命館大学でのキャンパス体験
- ・学校担当者を集めての研修会の開催
- ・モデル校による実践報告会の開催
- ・ESDの実践と全国学力・学習状況調査結果の相関分析

## <事業の目的・効果>

第3期草津市教育振興基本計画に掲げる基本方向に基づき、子どもの生きる力を育み、学校の教育力を高め、社会全体で学びを進めるために本事業を実施します。

令和12年度をゴールに、持続可能な社会の創り手となる人材の育成を図り、各学校が地域の特性を活かした特色ある学校経営の活性化を図ります。

※ESD=Education for Sustainable Development 持続可能な開発のための教育



## 経費の内訳

ESDアドバイザー費	3,739
ESDモデル校推進費	1,158
立命館大学協働事業委託費	733
その他事務費	252

# 未来を担う子ども育成プロジェクト

(単位:千円)

事業名	教育情報化推進費			区分	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属 教育委員会			学校政策推進課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
106,962	7,003			諸 1,795	98,164

## <事業の概要>

「教育の情報化」の行動計画として策定した「草津市学校教育情報化推進計画第2期計画」に基づき、令和5年度は、デジタル教材や1人1台端末をはじめとするICT機器を個別最適に活用するため、見直しを行った協働学習ソフトおよびデジタルドリルソフトの活用ならびにICT支援員の継続配置を行います。また、学校内での1人1台端末の安定動作を確保するため、ネットワーク環境を補強します。学校の情報発信力強化として、学校・保護者・地域間の連絡手段のデジタル化・ペーパーレス化を推進するため、学校だより等のプリントや連絡事項のデジタル配信機能、欠席遅刻連絡機能等を有する情報共有アプリを新たに導入するとともに、HP作成事務を省力化し、掲載コンテンツの更なる充実を図るため、学校ホームページにCMS(コンテンツ管理システム)を導入します。

## 【主な内容】

- ・協働学習ソフトおよびデジタルドリルソフトの配備
- ・ICT支援員配置
- ・学習者用端末の配備(保守・修繕を含む)
- ・教育ネットワーク環境の補強
- ・学校・保護者・地域間の情報共有アプリの導入および学校ホームページへのCMS導入【新規】

## <事業の目的・効果>

1人1台端末や液晶型電子黒板、協働学習ソフトなどのICT教育環境を効果的に活用した授業やプログラミング教育、情報モラル教育などを行うことにより、子どもたちの主体的で協働的な学びの実現と、これからの時代を生きていくうえで基盤となる資質・能力、確かな学力の育成を図ります。また、校務のデジタル化・ペーパーレス化を推進することで情報発信の充実と校務事務の負担軽減を図ります。

		経費の内訳
<p><b>協働学習ソフトの活用</b> 情報供給アプリの導入 学校HPへのCMS導入 ・学校だよりや連絡事項のデジタル配信 ・欠席、遅刻連絡機能等 ・更新頻度の向上 ・コンテンツの充実 ・マルチデバイスへの対応 ・ユニバーサルデザイン(多言語化含む)</p> <p><b>デジタルドリルソフトの活用</b> 児童生徒 渡し忘れ等の防止 保護者 地域</p> <p><b>情報発信力強化(学校、保護者、地域)</b> 学校HPの充実 デジタルによる情報共有</p> <p>主体的・対話的で深い学び、個別最適な学びの実現</p>		<p><b>【学校ICT推進費】</b></p> <p>協働学習ソフト等ライセンス料 12,054</p> <p>学校ICT支援員配置業務委託費 15,165</p> <p>学習者用端末整備費 18,541</p> <p>電子黒板整備費 8,501</p> <p>教育ネットワーク整備費 19,974</p> <p>その他事務費 8,335</p> <p><b>【校務情報化推進費】</b></p> <p>情報共有アプリ・CMS使用料等 4,010</p> <p>校務用端末整備費 14,767</p> <p>校務支援システムリース料 4,936</p> <p>その他事務費 679</p>

# 未来を担う子ども育成プロジェクト

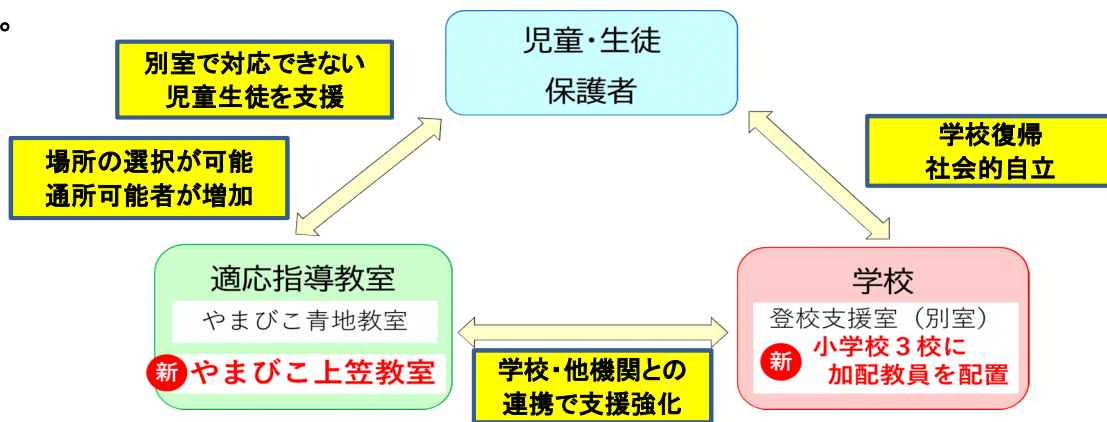
(単位:千円)

事業名	不登校児童生徒支援費			区分	拡大
令和5年度 事業費	担当部局・所属			教育委員会	
	財源内訳			児童生徒支援課／教育研究所	
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
29,162		210			28,952

## <事業の概要>

市内公立小中学校の不登校児童生徒数の割合は、全国・県と比較しても高い水準にあり、不登校対策は市として取り組むべき課題の一つとなっています。そのため、令和5年度から、不登校児童生徒の学習機会の保障や、社会的自立に向けた支援の充実を図るため、登校を支援する加配教員を小学校3校(各校1人)に配置します。

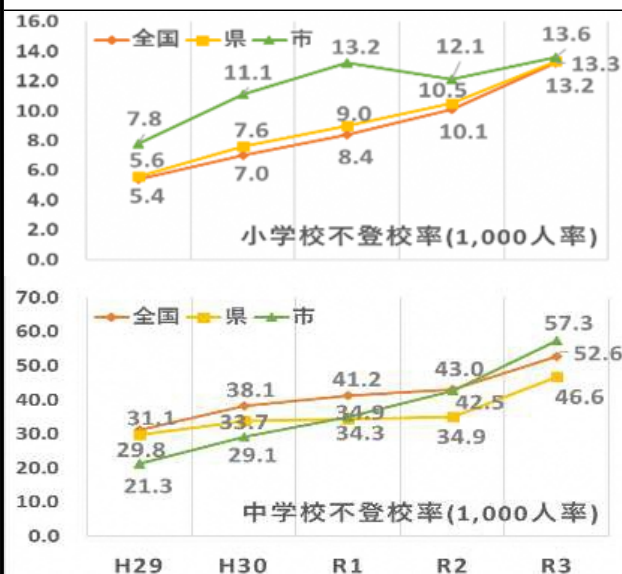
また、登校できない児童生徒の学習の機会と、居場所を確保するため、適応指導教室分室を新設します。



## <事業の目的・効果>

校内登校支援室(別室)に加配教員を配置し、子どもたちの学習機会の保障や社会的自立に向けた支援を充実させることで、不登校児童生徒の減少および教室復帰につなげます。

また、これまで距離的な理由から現在の適応指導教室に通所できない不登校児童生徒に対応するため、分室を設置し、不登校児童生徒の学習の機会と居場所を確保し、学校復帰や社会的自立につなげます。



## 経費の内訳

<b>【校内登校支援室】</b>	
会計年度任用職員費 (登校支援室加配教員)	4,139
グレードアップ連絡協議会 人材派遣委託費	860
スクーリングケアサポーター派遣費	423
<b>【適応指導教室】</b>	
会計年度任用職員費 (指導員・相談員)	18,775
分室テナント使用料	2,220
分室ネットワーク構築費	1,370
備品購入費	620
その他事務費	755

# 地域の支え合い推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	健幸都市づくり推進費(共同研究)			区分	新規
令和5年度 事業費	担当部局・所属 健康福祉部			健康福祉政策課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,878	4,939				4,939

## <事業の概要>

第6次草津市総合計画の基本構想に掲げる「健幸創造都市 草津」の実現に向けて、市民が健幸づくりに取り組むためのきっかけづくりや、環境づくりに取り組みます。

令和5年度は、健幸への意識や関心が低い方々(健幸無関心層)への効果的なアプローチの方策を検討するため、立命館大学等の協力の下で、「働き世代の健幸」に関する共同研究(※1)を行うとともに、市民に「歩いてもらうための仕掛けづくり」を検討するためのウォーキングモデル事業(※2)を実施します。

## 【主な内容】

- ・「働き世代の健幸」に関する共同研究
- ・ウォーキングモデル事業の実施

※1「働き世代の健幸」に関する共同研究…働き世代を被験者としたモニタリング調査(健康観察)を行い、心身の健康状態を表す「簡易的指標」およびそれに連動した運動プログラム等の開発を目指します。


※2ウォーキングモデル事業…令和6年度以降、市民等を対象とした「歩いてもらうための仕掛けづくり」の実施を検討するにあたり、最適歩数の設定など目標管理を行う上での裏付けの取得、デジタル技術を活用した測定・運用方法の検証等を行います。

## <事業の目的・効果>

誰もが生きがいをもち、健やかで幸せに暮らし続けられる健幸都市の実現に向けた取組を進めることで、将来訪れる人口減少や超高齢化への対応を図るとともに、持続可能な社会の構築を目指します。

住む人や訪れる人が草津市で「健幸」を感じることができ、また、まちそのものが「健幸」であり続けられるよう、引き続き市の総合政策として健幸都市づくりを着実に推進していきます。

◎健幸とは…生きがいをもち、健やかで幸せであること

		経費の内訳
 <p>ウォーキングモデル事業 (イメージ)</p> 	  <p>共同研究における 生化学検査の様子(イメージ)</p>	「働き世代の健幸」に関する 共同研究委託費 5,643 ウォーキングモデル事業委託費 4,235

# 地域の支え合い推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	健幸都市づくり推進費(広報・啓発等)		区分	拡大	
令和5年度 事業費	担当部局・所属	健康福祉部、上下水道部 健康福祉政策課、長寿いきがい課、上下水道施設課			
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
11,312	3,971	86	繰 介 保	787 186 141	6,141

## <事業の概要>

第6次草津市総合計画の基本構想に掲げる「健幸創造都市 草津」の実現に向けて、市民が健幸づくりに取り組むためのきっかけづくりや、環境づくりに取り組みます。  
 令和5年度は、健幸づくりの重要性を発信し、より多くの市民に「健幸」を意識してもらうため、草津川跡地公園における健幸イベント「健幸フェア」を開催するほか、「健幸都市くさつ」のPR動画(がん検診など)を制作し、映画館で放映するなど、様々な方法で情報発信の強化に取り組みます。  
 また、高齢者を対象としたeスポーツ(コンピューターゲームを使った対戦型競技)を通じた介護予防活動を推進するとともに、烏丸半島にイナズマロックフェスをイメージした「デザインマンホール」を設置し、BIWA-TEKUアプリの回遊コースとして設定することで、ウォーキングの促進・習慣化を図ります。




## 【主な内容】

- ・健幸フェアの開催
- ・「健幸都市くさつ」の情報発信(啓発用動画の制作・放映等)
- ・高齢者に対するeスポーツの普及・啓発
- ・デザインマンホールの設置(4か所)

## <事業の目的・効果>

誰もが生きがいをもち、健やかで幸せに暮らし続けられる健幸都市の実現に向けた取組を進めることで、将来訪れる人口減少や超高齢化への対応を図るとともに、持続可能な社会の構築を目指します。  
 住む人や訪れる人が草津市で「健幸」を感じることができ、また、まちそのものが「健幸」であり続けられるよう、引き続き市の総合政策として健幸都市づくりを着実に推進していきます。

◎健幸とは…生きがいをもち、健やかで幸せであること

		経費の内訳
 <p>健幸フェア(令和4年度)</p>		<b>【一般会計】</b> 健幸フェア開催費 1,280 「健幸都市くさつ」広報・啓発費 6,281
 <p>eスポーツ普及啓発</p>		<b>【介護保険事業特別会計】</b> eスポーツ普及啓発費 690
 <p>「健幸都市くさつ」PR動画制作・上映</p>		<b>【下水道事業会計】</b> デザインマンホール設置費 3,061

## 令和5年度 主要な健幸都市づくり事業 一覧

本概要に掲載している事業の中から  
草津市健幸都市づくり基本方針(令和5年3月策定予定)  
における4つのキャッチフレーズ(基本施策の方向性)  
ごとに3事業ずつ令和5年度の主な取組を抜粋

### <全世代共通の健幸づくり>

(単位:千円)

事業名	ページ	担当部局・所属		令和5年度 事業費	財源内訳			
					国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
がん検診受診率向上事業費	P26	健康福祉部	健康増進課	27,621	3,474	478	1,615	22,054
草津駅西口自転車駐車場建替事業費	P40	都市計画部 まちづくり協働部	交通政策課 生活安心課	232,700	116,300		115,600	800
読書のまち推進費	P13	教育委員会	図書館 教育総務課	53,018				53,018

### <世代ごとの健幸づくり>

(単位:千円)

事業名	ページ	担当部局・所属		令和5年度 事業費	財源内訳			
					国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
eスポーツ普及啓発費 ※健幸都市づくり推進費(広報・啓発等)の一部	P18	健康福祉部	長寿いきがい課	690	191	86	413	0
子宮頸がん予防ワクチン接種費	P25	健康福祉部	健康増進課	83,988				83,988
子ども・若者育成支援推進費	P6	子ども未来部	子ども家庭・若者課	10,221	4,799	324		5,098

### <支え合いのまちづくり>

(単位:千円)

事業名	ページ	担当部局・所属		令和5年度 事業費	財源内訳			
					国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
個別避難計画作成費	P48	総合政策部	危機管理課	2,845				2,845
基幹相談支援センター運営費	P23	健康福祉部	障害福祉課	12,906	3,793	1,895		7,218
多機関協働等事業費	P20	健康福祉部	地域保健課	16,071	8,035	4,017		4,019

### <行動変容につながるまちづくり>

(単位:千円)

事業名	ページ	担当部局・所属		令和5年度 事業費	財源内訳			
					国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
健幸フェア開催費 「健幸都市くさつ」広報・啓発費 ※健幸都市づくり推進費推進費(広報・啓発等)の一部	P18	健康福祉部	健康福祉政策課	10,622	3,780		701	6,141
健幸都市づくり推進費(共同研究)	P17	健康福祉部	健康福祉政策課	9,878	4,939			4,939
地域公共交通活性化推進費	P39	都市計画部	交通政策課	11,693				11,693

# 地域の支え合い推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	多機関協働等事業費			区分	新規
令和5年度 事業費	担当部局・所属 健康福祉部			地域保健課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
16,071	8,035	4,017			4,019

## <事業の概要>

介護・障害・子ども・生活困窮の各分野における支援だけでは対応しきれないような住民の複雑化・複合化した支援ニーズにも対応できる包括的な支援体制を構築するため、既存の相談支援と地域づくり支援に加えて、各支援を支える多機関協働事業費、参加支援事業費、アウトリーチ事業費を一体的に取り組みます。

### ・多機関協働事業費

世帯全体の課題をアセスメントし、必要な支援や優先順位を検討する支援機関コーディネート会議の開催等により、複雑化・複合化した課題の相談を受けとめた既存の支援関係機関をサポートし、関係機関の役割等を調整し連携の円滑化を図ります。

### ・参加支援事業費

人や社会との関わりに不安を抱えている人などに対して、社会とのつながりを回復するためのきっかけとなる活動の場を提供するため、社会参加の機会の選択肢の拡充に向けた地域資源の開拓や当事者とのマッチング、支援のためのネットワーク構築を行います。

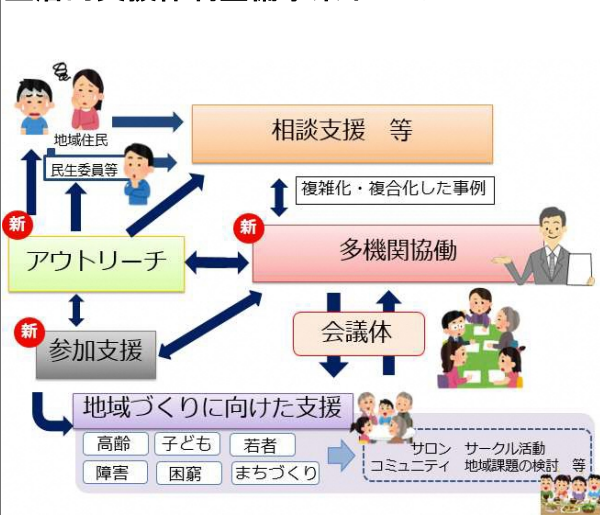
### ・アウトリーチ事業費

専門職(社会福祉士、精神保健福祉士等)を新たに配置し、長期的にひきこもっている等で自ら支援を求めることができない等、支援が届いていない人を見つけ、継続的な伴走支援を行うことで信頼関係を構築し、必要な支援につなぎます。

## <事業の目的・効果>

国が令和3年度に創設した重層的支援体制整備事業を活用し、各分野の総合調整、狭間のニーズへの対応等の支援体制の充実を図ることで、市としての包括的支援体制の構築に取り組みます。

## 重層的支援体制整備事業イメージ



## 経費の内訳

<多機関協働事業費>	
会計年度任用職員費	2,109
その他事務費	169
<参加支援事業費>	
事業委託費	6,820
<アウトリーチ事業費>	
事業委託費	6,973



## 重層的支援体制整備事業費一覧

(単位:千円)

相談支援							
対象事業等	事業名	担当所属	令和5年度 事業費	財源内訳			
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
【高齢】 地域包括支援センターの運営	高齢者総合相談・支援事業費	地域保健課	161,796	62,291	31,146	37,213	31,146
	権利擁護事業費	長寿いきがい課	4,432	1,706	853	1,020	853
	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費	長寿いきがい課	141	54	27	33	27
【障害】 障害者相談支援事業	基幹相談支援センター運営費	障害福祉課	12,906	3,793	1,895	0	7,218
【子ども】 利用者支援事業	民間保育所・認定こども園運営費	幼児課	3,179	2,052	513	0	614
	子育て支援拠点施設運営費	子育て相談センター	54,263	11,148	2,786	0	40,329
	総合相談事業費 ※児童健全育成事業費	子育て相談センター	3,339	1,578	394	0	1,367
	総合相談事業費 ※母子保健衛生費	子育て相談センター	1,130	534	133	0	463
	一般職員費(児童措置費)	職員課 (子育て相談センター)	8,446	3,992	998	0	3,456
	一般職員費(保健衛生総務費)	職員課 (子育て相談センター)	13,020	6,149	1,537	0	5,334
【困窮】 自立相談支援事業	生活困窮者自立支援費	人とくらしのサポートセンター	10,580	7,933	0	0	2,647
小計			273,232	101,230	40,282	38,266	93,454
地域づくりに向けた支援							
対象事業等	事業名	担当所属	令和5年度 事業費	財源内訳			
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
【高齢】 地域介護予防活動支援事業	地域介護予防活動支援事業費	長寿いきがい課	12,831	2,769	1,604	6,854	1,604
	一般職員費(老人福祉費)	職員課 (長寿いきがい課)	7,696	1,661	962	4,111	962
【高齢】 生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業費	長寿いきがい課	236	91	45	55	45
		地域保健課	23,267	8,958	4,479	5,351	4,479
【障害】 地域活動支援センター事業	障害者福祉センター管理運営費	障害福祉課	9,000	2,645	1,322	0	5,033
	湖南地域地域活動支援センター費	障害福祉課	6,296	1,850	924	0	3,522
【子ども】 地域子育て支援拠点事業	児童館運営費	子育て相談センター	1,983	661	661	0	661
	つどいの広場事業費	子育て相談センター	3,995	1,400	1,400	0	1,195
	子育て支援センター運営費	子育て相談センター	30,748	7,499	7,499	0	15,750
	子育て支援拠点施設運営費	子育て相談センター	55,157	5,982	5,982	0	43,193
【困窮】 生活困窮者支援等のための 地域づくり事業	子ども・若者育成支援推進費	子ども家庭・若者課	4,267	2,133	0	0	2,134
小計			155,476	35,649	24,878	16,371	78,578
多機関協働/参加支援/アウトリーチ等を通じた継続的支援							
対象事業等	事業名	担当所属	令和5年度 事業費	財源内訳			
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源
新規	多機関協働等事業費 (多機関協働事業費、参加支援事業費、アウトリーチ事業費)	地域保健課	16,071	8,035	4,017	0	4,019
合計			444,779	144,914	69,177	54,637	176,051

# 地域の支え合い推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	地域まちづくりセンター整備費			区分	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属			まちづくり協働課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
54,334			16,400	寄 繰 15,000 5,000	17,934

## <事業の概要>

各学区のまちづくりの拠点である地域まちづくりセンターのうち、建築後相当年数が経過し、老朽化が進んでいる施設について、築年数順に整備を進めます。  
令和5年度は、笠縫東まちづくりセンターの設計業務および矢倉まちづくりセンターの整備基本計画の策定を行います。また、笠縫東まちづくりセンターにおいては、笠縫東学区まちづくり協議会からの寄附金により新センター整備用地を取得します。

## 【施設概要】

延床面積:約630㎡程度(事務室、和室、調理室、大会議室等)

## 【事業年度計画】

施設名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
笠縫東まちづくりセンター	基本・実施・解体設計業務 用地取得	改築工事	解体工事	
矢倉まちづくりセンター	整備基本計画策定業務	基本・実施・解体設計業務	改築工事	解体工事

## <事業の目的・効果>

地域のまちづくり活動の拠点である地域まちづくりセンターについて、それぞれの地域の特性やニーズを踏まえた整備を行うことにより、地域活動のための施設環境の向上を図り、まちづくり協議会を中心とした地域主体のまちづくりを促進します。



笠縫東まちづくりセンター



矢倉まちづくりセンター

## 経費の内訳

<b>【笠縫東まちづくりセンター】</b>	
基本・実施・解体設計費	29,262
用地取得費	22,789
その他事務費	633
<b>【矢倉まちづくりセンター】</b>	
整備基本計画策定費	1,650

# 地域の支え合い推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	基幹相談支援センター運営費			区分	拡大
令和5年度 事業費	担当部局・所属 健康福祉部			障害福祉課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
12,906	3,793	1,895			7,218

**<事業の概要>**

障害のある人のサービス等利用計画の作成を行う相談支援事業者に対し、総合的かつ専門的な支援を行うため、令和2年度より基幹相談支援コーディネーターを配置しておりますが、障害・福祉ニーズは年々多様化・増大化しており、様々な困りごとに対応するための自立支援・相談支援の強化が求められています。また、国の第4次障害者基本計画および基本指針により、基幹相談支援センター機能の活用が重要とされており、第2次草津市障害者計画においても、センター設置を重点的な取組として位置づけております。

このことから、更なる相談支援体制の充実・強化を図るために、基幹相談支援センターを設置し、各関係機関等と連携を図りながら、市内の障害者をサポートできる相談支援の中核機関として、総合的な自立支援・相談支援を実施します。

**【スケジュール】**

令和5年4月 基幹相談支援センター開設(草津市障害者福祉センター内)

**<事業の目的・効果>**

障害児者やその家族等からの相談に対応した、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用、専門機関等の情報提供などを行うことにより、地域における生活を支援します。また、草津市障害者福祉センターや地域の障害福祉事業関係者等で構成される自立支援協議会の事務局として他分野の専門機関との連携、地域の相談支援を行う人材育成の取組などにより、地域における相談支援体制の強化を図ります。

		経費の内訳	
		項目	金額
		基幹相談支援センター運営委託費	12,906

# 地域の支え合い推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	第3次草津市障害者計画・第7期草津市障害福祉計画・第3期草津市障害児福祉計画策定費			区分	新規
令和5年度 事業費	担当部局・所属 健康福祉部・子ども未来部			障害福祉課・発達支援センター	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,085					3,085

## <事業の概要>

本市の障害者施策の総合的計画である「第2次草津市障害者計画」ならびに施策に関する基本的な計画である「第6期草津市障害福祉計画・第2期草津市障害児福祉計画」については、その計画期間を令和5年度までとしていることから、令和4年度は障害者等実態調査を行い、次期計画を策定するための基礎資料を作成しました。

令和5年度は、各障害者団体等へのヒアリング調査や現計画の分析および課題の整理などを行い、本市にふさわしい障害者施策のあり方を検討し、令和6年度からの「第3次草津市障害者計画」および「第7期草津市障害福祉計画・第3期草津市障害児福祉計画」を策定します。

## 【スケジュール】

令和5年	5月～	7月	各障害者団体等へのヒアリング調査等(ニーズ等把握、現状分析・課題整理)
	8月～	11月	草津市障害者施策推進審議会(計画案協議等、3回程度)
	12月		パブリック・コメントの実施
令和6年	1月		草津市障害者施策推進審議会(最終計画策定)

## <事業の目的・効果>

「第3次草津市障害者計画および第7期草津市障害福祉計画・第3期草津市障害児福祉計画」を策定することで、本市としての障害者施策の基本的な方向性や障害福祉サービス等の数値目標と具体的な取組を示し、障害者施策の充実を図ります。



## 経費の内訳

計画策定業務委託費	2,268
障害者施策推進審議会運営費	438
その他事務費	379

# 地域の支え合い推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	子宮頸がん予防ワクチン接種費			区分	拡大
令和5年度 事業費	担当部局・所属 健康福祉部			健康増進課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
83,988					83,988

## <事業の概要>

子宮頸がん予防接種では、サーバリックス(2価HPVワクチン)、ガーダシル(4価HPVワクチン)の2種類のHPVワクチンを使用していますが、令和5年4月1日から、新たにシルガード9(9価HPVワクチン)を追加し、地域医療機関において費用負担なく個別接種を実施します。また、対象者全員に接種勧奨に併せて子宮頸がん検診の必要性や検診受診について個別勧奨を行います。

## 【対象者】

- ・定期接種…平成19年度～平成23年度生まれ(小学校6年生～高校1年生相当)の女性
- ・キャッチアップ接種…平成9年度～平成18年度生まれの10学年のうち、子宮頸がん予防ワクチン接種を受けていない女性(令和6年度は平成19年度生まれもキャッチアップ接種対象者として接種可能)

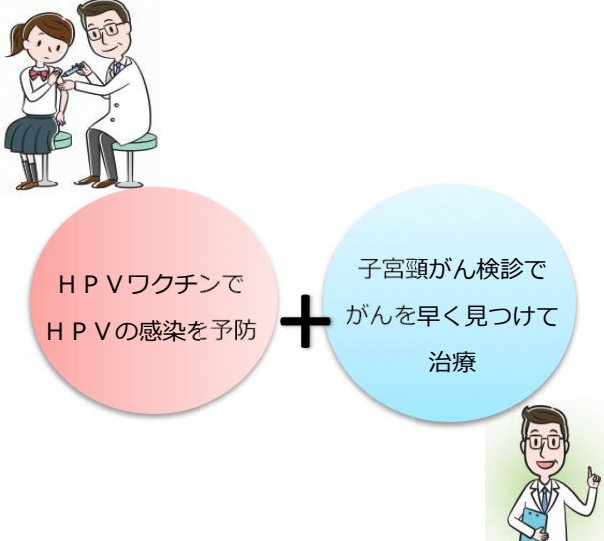
## 【スケジュール】

- ・令和5年4月～シルガード9(9価HPVワクチン)の定期接種開始  
定期接種対象者・キャッチアップ接種対象者へ個別勧奨通知

※キャッチアップ接種:平成25年6月以降における積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方に対して、公平な接種機会を確保する観点から、時限的に従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行うこと。

## <事業の目的・効果>

予防接種の積極的勧奨により、対象者に接種機会の提供を行い、子宮頸がんの発症や死亡率の減少を図ります。令和5年度から追加するシルガード9(9価HPVワクチン)は、9種類の遺伝子型を標的としており、従来の2価・4価HPVワクチンよりも予防効果が高く、子宮頸がんおよび前がん病変の罹患率の減少、子宮頸がんの死亡率減少の効果が期待できます。

	経費の内訳	
	【定期接種】	
	予防接種費	45,860
	個別勧奨通知費	546
【キャッチアップ接種】		
予防接種費	36,391	
個別勧奨通知費	751	
【システム改修費】	440	

# 地域の支え合い推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	がん検診受診率向上事業費			区分	拡大
令和5年度 事業費	担当部局・所属 健康福祉部			健康増進課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
27,621	3,474	478		諸 1,615	22,054

## <事業の概要>

がん検診について、「ナッジ理論(※)」を取り入れた個別勧奨を行うなど、検診体制やがんの啓発を充実させることにより、がん対策の推進を図ります。

## 【主な内容】

- ・大腸がん検便キットを同封した個別勧奨通知  
検便キットを手にするにより、受診のきっかけを提供します。  
対象者:当該年度末年齢40歳の人  
過去5年以内に大腸がん検診受診歴があり前年度受診歴がない69歳までの人
- ・集団検診の回数増(8回→10回)とWeb予約導入(電子申請システムの追加機能にて対応。  
P. 56「DX・ICT等利活用推進費」参照)  
受診希望者の利便性を高め、受診者数の増加を目指します。
- ・がん検診の情報発信(P. 18「健幸都市づくり推進費(広報・啓発等)」参照)  
「がん検診」のPR動画を制作し、映画館で放映することにより、がんとがん検診についての理解を深め、検診受診の意識を高めめます。

※ナッジ理論:対象者に選択の余地を残しながらも、より良い方向に誘導する手法。  
人間の行動を心理学、経済学の側面から研究する「行動経済学」の教授によって提唱されたもの。

## <事業の目的・効果>

がんの早期発見・早期治療につなげ、がんによる死亡者数の減少を図るために、無関心層や働く世代の人を検診受診行動に結びつけ、がん検診の受診率向上を目指します。

大腸がん検診受診の流れ(個別検診)		経費の内訳	
【従来分】	【拡大分】		
個別勧奨通知・ホームページなどで周知	個別勧奨通知+検便キットを郵送	個別勧奨事務費	10,982
Step1 医療機関を選ぶ		無料クーポン券・再勧奨事務費	2,117
Step2 予約する(予約不要な場合あり)		集団検診委託費	14,522
Step3 医療機関で検便キットを受け取る	自宅で検便キットを受け取る		
Step4 医療機関に検便キットを提出する	← (予約する(予約不要な場合あり))		
Step5 医療機関に結果を聞きに行く			

# 地域の支え合い推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	常盤団地長寿命化事業費			区分	住宅課	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属 建設部			住宅課		
	財源内訳					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
272,406	92,503		174,100		5,803	

## <事業の概要>

建設から約40年が経過し、建物や配管等の老朽化が進んでいることから、給排水管等の更新や耐震性、断熱性の向上などの全面的改修により常盤団地の長寿命化を行います。また、同時に超高齢社会において更なる高まりが予測される公営住宅への居住ニーズに対応するため、住戸内の段差解消やユニットバスの設置等、福祉対応と居住性向上を図ります。

令和5年度は、B棟工事の完了、C棟の工事着手および外構工事に向けた設計を行います。

## 【住宅概要】

- 敷地面積 6,791㎡
- 住戸数 全72戸(1棟24戸×3棟)
- 建築年 A棟:昭和53年  
B棟:昭和55年  
C棟:昭和57年

## 【スケジュール】

- 令和3年度 A棟工事
- ↓ B棟工事
- ↓ C棟工事
- 令和7年度 外構工事

## 【工事概要】

工事内容(一部抜粋)
非常警報設備の更新
通路照度の向上
屋外通路の段差改善
ユニットバス設置
住戸内の段差解消
手摺りの設置
給湯設備の設置
流し台の更新
耐震性の向上
給水方式の変更
給排水管の更新
断熱改修

- ➡ 安全性を向上するもの
- ➡ 高齢者等に対応するもの
- ➡ 快適性を向上するもの
- ➡ 長く使えるようにするもの

## <事業の目的・効果>

老朽化が進む住宅ストックについて、適切な時期に大規模改修を行い長期的な活用を可能とすることで財政負担を軽減し、また、高齢化の進展等により変化する居住ニーズに適切に対応することで、将来にわたり安全で快適な公営住宅の供給を行います。



常盤団地(B棟)

## 経費の内訳

B棟工事費、工事監理費	188,478
C棟工事費	69,960
外構工事基本・実施設計費	7,942
入居者移転支援費	5,564
その他事務費	462
(債務負担行為)	
令和6年度	
C棟工事費、工事監理費	288,000

# 地域の支え合い推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	(仮称)新志津運動公園整備費			区分	新規
令和5年度 事業費	担当部局・所属 教育委員会			スポーツ推進課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,136					7,136

## <事業の概要>

平成30年3月に供用開始した新クリーンセンターの整備にあたり、志津運動公園グラウンドをその建設用地としたため、志津運動公園グラウンドの代替施設として新たにグラウンドの整備を実施するための基本計画を策定します。

## 【主な内容】

- ・整備基本計画の策定
- ・草津市スポーツ推進審議会の開催

## 【令和6年度以降の予定】

地形測量・用地測量・用地買収・基本設計・実施設計・整備工事ほか

## 【志津運動公園グラウンド(平成27年11月30日廃止)の概要】

整地面積 約17,000㎡  
 主な利用 ソフトボール、野球、サッカー等  
 主な設備 夜間照明、管理棟、トイレ、駐車場

## <事業の目的・効果>

新クリーンセンターの整備にあたり建設用地とした志津運動公園グラウンドの代替施設を整備することで、本市のスポーツ環境の充実を図ります。



平成27年廃止の志津運動公園グラウンド

## 経費の内訳

整備基本計画策定業務委託費	6,436
計画策定にかかる審議会運営費	333
その他事務費	367



# 地域の支え合い推進プロジェクト

(単位:千円)

事業名	わたSHIGA輝く国スポ・障スポ準備費			区分	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属 教育委員会			スポーツ大会推進室	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
56,033					56,033

## <事業の概要>

令和7年に開催の「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」に向けて、令和5年度は、イベント開催による周知啓発活動のほか、競技会場等のレイアウトや必要な仮設物、レンタル物品等の設営設計などに取り組みます。

また、駐車場確保のため、競技会場に隣接する草津川跡地に暫定駐車場を整備します。

## 【本市の開催競技】

わたSHIGA輝く国スポ(第79回国民スポーツ大会)

### <正式競技>

水泳(競泳・飛込・水球・アーティスティックスイミング)／バレーボール(成年男子・成年女子)／バスケットボール(少年女子)／軟式野球(成年男子)／ソフトボール(少年男子)

### <公開競技>

バウンドテニス(全種別)

### <デモンストレーションスポーツ>

ノルディック・ウォーク／インディアカ／スポーツウエルネス吹矢

わたSHIGA輝く障スポ(第24回全国障害者スポーツ大会)

<正式競技> 水泳(身・知)／バレーボール(精)


## 【競技施設周辺駐車場整備事業(野村・下笠)】

スケジュール: 令和5年度 整備工事

## <事業の目的・効果>

滋賀県や競技団体等の関係機関と連携を深め、より良い大会の実現に向けて取り組むとともに、両大会の準備や運営を通じて、さらなるスポーツ健康づくりの推進や交流人口の拡大によるまちの活性化等を図る契機とします。

また、駐車場不足に対応するための暫定駐車場を草津川跡地に整備し、スムーズな大会運営を図ります。

<p>湖国の感動 未来へつなぐ</p> <p><b>わたSHIGA輝く国スポ・障スポ</b></p> <p>第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 <b>2025</b></p>  <p>草津市</p> <p>キャッフィー・たび丸・チャッフィー</p>	経費の内訳	
	わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 草津市実行委員会負担金 競技施設周辺駐車場整備費 (野村町・下笠町地先)	13,933

# にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	烏丸半島中央部複合型観光集客施設事業費		区分	新規	
令和5年度 事業費	担当部局・所属		総合政策部		
			企画調整課		
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
0					

## <事業の概要>

本市では、烏丸半島を、第6次草津市総合計画基本構想において「観光レクリエーション拠点」に、また、草津市都市計画マスタープランにおいて「交流創出核」に位置付けております。

烏丸半島中央部において、草津市土地開発公社が烏丸半島中央部複合型観光集客施設事業の実施事業者を公募するにあたり、より幅広い提案が受けられるよう、草津市土地開発公社による土地の売却に加え、当該地を市が草津市土地開発公社から取得し、貸付を行うスキームの検討を行います。(※土地開発公社では長期の貸付ができないため)

## <事業の目的・効果>

本事業により、烏丸半島中央部の有効に活用されていない用地において、民間活力の活用を通じた地域の活性化に寄与するまちづくりを進めます。



## 経費の内訳

(債務負担行為)

令和6年度

烏丸半島中央部用地費

563,100

# にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	草津市産業振興計画推進費			区分	新規
令和5年度 事業費	担当部局・所属		環境経済部	商工観光労政課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,639	3,500				6,139

## <事業の概要>

令和5年7月制定予定の「草津市産業振興条例」に掲げる目的の実現に向けて、各主体(事業者・産業振興団体・金融機関・教育研究機関・市民)と連携・協働しながら、「草津市産業振興計画」に基づく施策を総合的に推進することにより、本市経済の発展および市民生活の向上に取り組みます。

令和5年度は、創業希望者や中小企業等が抱えるビジネス上の課題にワンストップで相談可能な体制を構築するため、草津商工会議所と共同で「(仮称)草津市ビジネスサポートセンター」を設置します。

また、本市の地域特性を踏まえ、新たな取組に挑戦しやすいまちとしての産業振興を促進するため、創業希望者等の創業に要する経費の一部を拡大し、支援します。

## 【新規事業】

- ・ビジネスサポートセンター運営費

## 【拡大事業】

- ・創業支援補助金

	現行	拡大
補助対象者	現在事業を営んでいない個人であって、新たに事業を開始する者のうち、「市内居住者枠」・「U/Iターン者枠」の要件に該当する者。	創業3年未満であり、市内で事業所等を有する者(予定を含む)のうち、支援機関の支援を受け、「新規創業」・「法人成り」・「第二創業・事業承継」の要件に該当する者。
補助金額	市内居住者枠:10万円 U/Iターン者枠:30万円	通常枠:50万円 +学生創業枠:25万円 +U/Iターン者枠:25万円 +ゼロカーボン推進枠 or DX推進枠:25万円

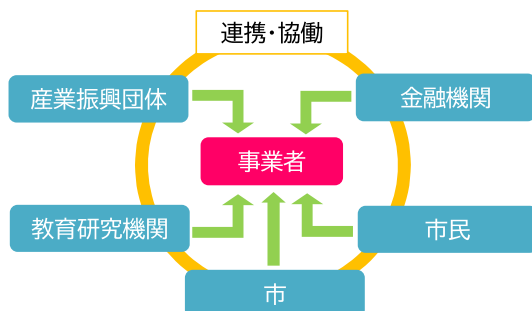
## <事業の目的・効果>

草津商工会議所内にビジネスサポートセンターを設置することにより、創業前から創業後まで支援が可能な体制を構築することができ、近年増加する創業相談や支援ニーズに効果的・効率的に対応することが可能となります。

また、創業支援補助金の金額や補助対象者を拡大することにより、創業機運の更なる醸成を図ることと、新規創業者等の創出と成長・発展、ならびに地域経済の活性化を図ります。

持続可能な**未来**に向けて  
新たな**価値**を生み出す

人が交わり・魅力あふれるまち **草津**



## 経費の内訳

【新規事業】	
ビジネスサポートセンター運営費	2,639
【拡大事業】	
創業支援補助金	7,000

# にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	第2次草津市農業振興計画推進費			区分	拡大
令和5年度 事業費	担当部局・所属 環境経済部			農林水産課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,086		1,124			5,962

## <事業の概要>

「第2次草津市農業振興計画」の取組を進めるため、令和5年度は、これまでの高収益作物の栽培面積の拡大、安定的な農業経営の強化のための支援や、子どもを対象にした「農」とのふれあいの機会を創出する事業に加え、新たに新規就農者の受け入れ体制の整備を進めます。

### 【新規事業】

- ・新規就農者等サポート体制構築事業  
関係機関と連携し、新規就農者へのサポート体制を構築します。(就農相談員の配置等)

### 【継続事業】

- ・園芸施設用パイプハウス撤去・処分補助  
空きハウスの利活用や高収益作物の栽培面積拡大を図るため、パイプハウスの撤去等を行う農業者に対し、支援します。(上限:200千円)
- ・収入保険加入推進補助  
国が進めているセーフティネット(収入保険)に加入する農業者に対し、支援します。(補助率:1/3、上限:100千円)
- ・法人化講習会の開催(2回)  
外部講師による講習会や担い手同士の意見交換によって、多様な人材の確保に努めます。
- ・食農教育の実施  
子どもを対象にした食農教育(栽培、収穫、食べる)を実施し、「食」や「農」への意識の醸成を図ります。

## <事業の目的・効果>

本市の農業を次世代に継承し、持続可能で安定的な農業経営の強化を図るとともに、「農」を通じたつながりの拡大を進めます。

	経費の内訳	
	<b>【新規事業】</b> 新規就農者等サポート体制構築費	
<b>【継続事業】</b> 園芸施設用パイプハウス 撤去・処分補助金		1,000
収入保険加入推進補助金		102
法人化講習会開催費		60
食農教育推進費		170

# にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	道の駅草津リノベーション推進費			区分	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属 環境経済部			農林水産課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
10,901					10,901

## <事業の概要>

道の駅草津は、都市と農村との地域間交流や道路利用者の休憩機能などを併せ持った施設として、平成15年度に供用を開始し、ピーク時(平成18年度)には約33万人の利用がありました。近年では約20万人前後まで減少しています。

このことから、「道の駅草津リノベーション構想」に基づく、道の駅草津の機能や魅力の向上等を通して、本市の農業振興を図るとともに、地方創生の拠点形成を目指します。

令和5年度は、令和4年度に判明したリノベーションの推進に係る状況の変化を踏まえ、道の駅に必要な機能や規模等のニーズ調査を行い、道の駅草津エリア全体のあり方、配置、ゾーニング等を含めた基本計画策定に取り組みます。

## 【計画エリア】

草津市下物町地先

## 【主な内容】

道の駅草津エリア全体のあり方、配置、ゾーニング等に関する基本計画策定

## <事業の目的・効果>

道の駅草津のリノベーションを進めることによって、地域の活性化や観光客の誘客促進が図れるなど、農業振興や地方創生の拠点形成を目指します。



▲ 道の駅草津

## 経費の内訳

道の駅草津基本計画策定	
業務委託費	10,901

# にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	馬場山寺基盤整備費			区分	農林水産課	継続	
令和5年度 事業費	担当部局・所属		環境経済部		農林水産課		
	財源内訳						
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
4,351			2,700			1,651	

**<事業の概要>**

馬場山寺地域の未整備田において、農地の基盤整備(ほ場整備)事業を実施します。  
 基盤整備事業により、農地を大区画化するとともに、道路や水路を整備し、効率的な農業経営を可能にします。また、換地の手続きにより、整備後の新しい区画の所有者を決め直すことで、将来の農業生産を担う経営体(担い手)への農地の集積を推進します。  
 令和5年度は土地改良区を設立し、換地原案の作成に取り組むとともに、滋賀県が県営事業として実施設計を進めます。

**【実施場所】**

草津市 馬場町、山寺町地先

**【事業面積】**

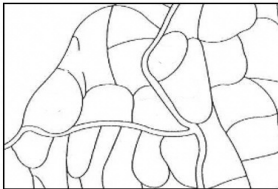
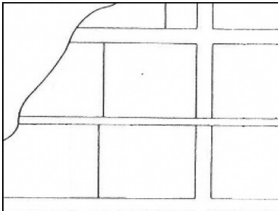
67.5ha

**【スケジュール】**

令和5年度 県営事業として基盤整備事業開始、実施設計、土地改良区の設立等  
 令和6年度～ 実施設計完了後、工事着手(県営事業)

**<事業の目的・効果>**

農地の大区画化と担い手農家への農地集積により、生産性の向上や経営規模拡大などの体質強化を図り、地域農業の振興と優良農地の確保・保全を進めます。

<p><b>&lt;現状&gt;</b></p>  <p>農地が不整形であり作業効率が悪い</p> <p><b>&lt;整備後&gt;</b></p>  <p>整形、大区画化した農地では作業効率が向上</p>	経費の内訳	
	<p>県営事業市町負担金</p> <p>土地改良区運営補助金</p>	<p>3,375</p> <p>976</p>

# にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	立地適正化計画改定費			区分	新規
令和5年度 事業費	担当部局・所属 都市計画部			都市計画課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
12,102	6,000				6,102

## <事業の概要>

草津市立地適正化計画は、平成30年10月の策定から5年が経過し、計画内で定める見直し時期を迎えることから、令和4年度に中間検証を行いました。

令和5年度は、中間検証の結果を踏まえ、計画の内容を一部見直すとともに、近年、頻発する自然災害に対応する為、令和2年度の都市再生特別措置法の改正により、立地適正化計画において位置付けることとされた、防災指針を新たに加え、都市の変化に応じた内容の計画とします。

## 【主な内容】

- ・草津市立地適正化計画改定業務

## <事業の目的・効果>

策定から5年が経過し、見直し時期を迎える草津市立地適正化計画について、令和4年度に実施した中間検証の結果を踏まえて、一部見直しを実施し、都市の変化に応じた計画内容とすることで、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりの取り組みを推進します。

	経費の内訳	
	立地適正化計画改定業務委託費	
その他事務費		332

# にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	景観計画改定費			区分	新規
令和5年度 事業費	担当部局・所属			都市計画課	
	都市計画部			都市計画課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,170	2,085				2,085

## <事業の概要>

草津市景観計画は平成24年10月の策定から10年が経過し、市街化区域の見直し等、都市化の進展に伴う生活スタイルや社会情勢の変化に加えて、広域景観形成の取組により、大津市と共同で策定した「びわこ東海道景観基本計画」の内容を反映させるため、草津市景観計画の見直しに向けて取り組めます。

## 【スケジュール】

- 令和5年度
  - 市民アンケート調査実施
  - 効果検証(景観届出等の分析)実施
- 令和6年度
  - 景観計画改定方針決定
  - 景観計画素案作成
  - パブリックコメント実施
  - 景観条例等改正
  - 景観計画改定

## <事業の目的・効果>

生活スタイルや社会情勢の変化を踏まえ、これまでの景観形成の取組を検証するとともに、本市を取り巻く状況の変化との整合を図り、景観施策のさらなる推進を図ります。



帰帆島からの眺望景観

## 経費の内訳

景観計画改定業務委託費	3,498
市民アンケート調査費	672



# にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	東海道沿道無電柱化整備費			区分	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属 都市計画部			都市計画課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
132,497	60,900		64,400	繰 上 り 金 6,000	1,197

## <事業の概要>

東海道草津宿本陣通りの歴史的な景観の形成を推進し、災害時における電柱倒壊の防止など安全性の向上を図るため、本陣周辺の無電柱化事業を進めます。

令和5年度は、架線化されている電気・通信線を地中化するための本体管路に支障のある上水道管の移設工事を行います。また、電気・通信線を本体管路へ入線し、不要となる電柱等を抜柱する工事に併せて、照明灯工事および舗装本復旧工事を行います。

## 【整備区間】

市道宮町渋川線の草津川隧道(草津マンポ)から南に約140mの区間

## 【整備内容】

- 上水道移設工事
- 入線抜柱工事
- 照明灯工事
- 舗装本復旧設計業務
- 舗装本復旧工事

## <事業の目的・効果>

東海道沿道は無電柱化することにより、本陣周辺エリアの景観を向上させ、景観形成重点地区の基準および東海道草津宿本陣地区計画に基づき歴史街道の街並みを保存します。

また、併せて災害時における電柱倒壊の防止や道路環境の改善による通行空間の安全性・快適性の確保を図ります。



【無電柱化のイメージ】  
(草津宿本陣周辺)

## 経費の内訳

上水道移設工事費	25,243
入線抜柱工事費	29,374
照明灯工事費	26,675
舗装本復旧設計業務委託費	2,178
舗装本復旧工事費	49,027

# にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	草津PAと連携した拠点整備基本計画策定費		区分	継続	
令和5年度 事業費	担当部局・所属		都市計画部		
			都市地域戦略課		
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
20,971					20,971

## <事業の概要>

びわこ文化公園都市周辺エリアについては、名神高速道路等の広域的な道路ネットワークに加え、医療・福祉・学術・産業等が立地する恵まれた環境を有しており、これらのポテンシャルの有効活用を図り、当該エリアを「滋賀県の新たな玄関口」として機能させ、当該エリアを含む滋賀県南部エリアの活性化につなげるよう、名神高速道路草津パーキングエリア(PA)と連携した地域振興機能や広域的な防災機能を備えた公共交通結節拠点の整備を目指します。

令和5年度は、「草津PAと連携した滋賀県南部エリア活性化基本構想」に基づき、学識経験者や関係機関の代表者等で構成する検討会の開催により、「草津PAと連携した滋賀県南部エリア活性化基本計画」を策定します。

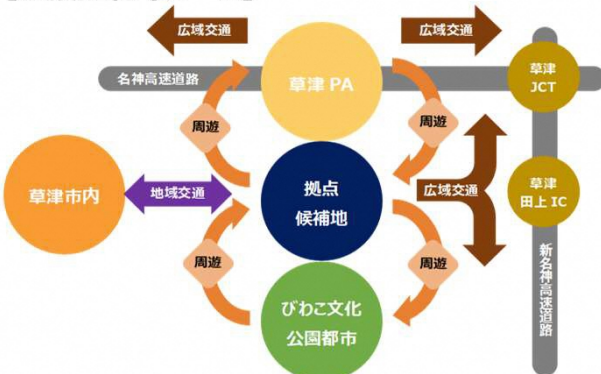
## 【主な内容】

- ・草津PAと連携した滋賀県南部エリア活性化基本計画策定業務
- ・検討会の開催

## <事業の目的・効果>

地域振興機能や広域的な防災機能を備えた公共交通結節拠点を整備することで、市民の交通利便性や生産性の向上および地域の活性化や安全・安心に寄与し、草津市都市計画マスタープランに位置付けられている複合連携核としての拠点の形成を図ります。

## 【拠点整備イメージ】



- ◆交通結節機能と道路網充実による利便性向上
- ◆地域情報の発信、立ち寄り機能による認知度・回遊魅力の向上
- ◆広域防災機能の強化およびJRの代替公共交通の確保

## 経費の内訳

基本計画策定業務委託費	19,756
検討会運営費	957
その他事務費	258

# にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	地域公共交通活性化推進費			区分	新規
令和5年度 事業費	担当部局・所属 都市計画部			交通政策課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
11,693					11,693

## <事業の概要>

本市では、草津市総合計画のもと、草津市立地適正化計画等と連携して策定した「草津市地域公共交通網形成計画」において、持続可能な地域公共交通ネットワークを目指し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを推進しておりますが、今回「草津市地域公共交通網形成計画」を見直し、地域の皆さんのニーズを的確に捉えながら、交通事業者や警察等と連携した各種施策の取り組みを進めることで市内の公共交通の更なる充実を図るため、新たに「草津市地域公共交通計画」の策定に取り組めます。(策定主体:草津市地域公共交通活性化再生協議会)

## 【主な内容】

- ・草津市地域公共交通計画策定業務

## <事業の目的・効果>

市内の地域公共交通を全面的に再点検し、地域の特性に考慮した地域公共交通の再編を実施するため、「草津市地域公共交通網形成計画」を改編し、地域公共交通のマスタープランとなる「草津市地域公共交通計画」を策定することで、将来の人口減少局面においても持続可能な都市構造を維持することを目指します。



## 経費の内訳

地域公共交通計画策定 業務負担金	11,693
---------------------	--------

# にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	草津駅西口自転車駐車場建替事業費			区分	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属 都市計画部、まちづくり協働部			交通政策課、生活安心課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
232,700	116,300		104,600	繰 11,000	800

## <事業の概要>

草津駅西口自転車駐車場は、昭和56年の供用開始から41年が経過しており、施設の老朽化が深刻な状況です。

このことから、一時的に草津駅西口第5自転車駐車場を整備し、自転車駐車スペースを確保するとともに、老朽化した施設を建て替えることで、自転車駐車スペースを拡大し、自転車の利用環境の整備と利用促進を進めます。

また、路上喫煙禁止の徹底や受動喫煙の防止のため、建替を行う草津駅西口自転車駐車場に併設して、閉鎖型喫煙所を整備します。

## 【主な内容】

- ・草津駅西口自転車駐車場建替工事(閉鎖型喫煙所含む)
- ・草津駅西口自転車駐車場建替工事監理業務(閉鎖型喫煙所含む)
- ・収容台数:972台<現在> → 1,150台<拡大予定>

## 【スケジュール】

- ・令和5年度 草津駅西口自転車駐車場建替工事(解体・建設)、監理業務(R5.12~)
- ~令和6年度 (閉鎖型喫煙所含む)
- ・令和7年度 草津駅西口自転車駐車場(建替後)および閉鎖型喫煙所の供用開始(R7.4~)

## <事業の目的・効果>

草津駅西口自転車駐車場の建替により、自転車駐車スペースのさらなる確保等を行うことで、当該自転車駐車場の利便性の向上を図ります。

また、閉鎖型喫煙所の整備により、路上喫煙禁止の徹底と受動喫煙の防止を図ります。

## ●草津駅西口自転車駐車場(イメージ図)



基本設計(令和3年度実施)

## 経費の内訳

草津駅西口自転車駐車場	
建替工事費	228,300
閉鎖型喫煙所整備工事費	4,400
(債務負担行為)	
令和6年度	
草津駅西口自転車駐車場	
建替工事費、工事監理費	349,900
閉鎖型喫煙所整備工事費、	
工事監理費	6,900

# にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	ロクハ公園プール検討費			区分	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属 建設部			公園緑地課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
13,800					13,800

## <事業の概要>

ロクハ公園プールは、昭和63年のオープンから30年以上が経過している中で、老朽化状況を把握するため、令和4年度に劣化度調査を実施しています。

令和5年度においては、施設の劣化状況や現在の運営状況等を踏まえ、市民ニーズの把握を行い、学識経験者、関係団体の代表者等で構成する委員会での専門的・多角的な議論を経て、今後のロクハ公園プールの方針等に係る基本計画を策定します。

## 【主な内容】



- ・基本計画策定(今後のロクハ公園プールに関する方針等)、アンケート調査、委員会運営

## 【現施設の概要】

- ・屋外:流水プール(1周200m、幅8m)  
スライダープール(高さ8m、全長66m)
- ・屋内:25mプール(長さ25m、幅13m)  
幼児プール(長さ13m、幅6m)

## <事業の目的・効果>

ロクハ公園プールについて、劣化状況や市民ニーズを踏まえ、安全性や運営・管理について最適な整備運営の検討を行います。

		経費の内訳	
  ロクハ公園プール	基本計画策定業務委託費		12,781
	アンケート調査費		615
	委員会運営費		280
	その他事務費		124

# にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	草津川跡地整備費・公園運営費			区分	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属 建設部			草津川跡地整備課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
275,078	26,600	16,358	79,300	使 繰 諸 18,085 13,000 177	121,558

## <事業の概要>

草津川跡地は、草津川跡地利用基本計画に基づき、区間ごとに順次公園整備を進めており、平成29年度に供用を開始したai彩ひろば、de愛ひろばについて指定管理者による管理を行っています。令和5年度は、区間4のJR琵琶湖線上部の道路拡幅に向けて、引き続き、県とともに整備工事を行います。また、区間6の整備については、先行取得した用地を買戻し、整備に向け、栗東市と共に取組を進めます。

## 【主な内容】

### 草津川跡地整備費

#### ・区間4JR琵琶湖線上部工事

区間4JR琵琶湖線草津川トンネルの交差部分の道路拡幅工事を行います。

#### ・区間6整備事業

整備に向け、令和4年度において土地開発基金により先行取得した用地の買戻しを行います。

区間6については、栗東市域を含むため、栗東市と共同で事業を進めます。

### 草津川跡地公園運営費

#### ・草津川跡地公園指定管理業務

ai彩ひろば、de愛ひろばについて指定管理者による管理を行います。

## <事業の目的・効果>

草津川跡地の未整備区間の公園整備を進めるとともに、草津川跡地公園のさらなる“にぎわい”と“うるおい”の創出を図り、周辺地域の魅力を高め、地域や世代を超えた市民の交流や多様な文化・コミュニティ活動の場づくりに取り組みます。



区間4JR琵琶湖線上部完成イメージ  
(de愛ひろばから下流望む)

## 経費の内訳

### 【草津川跡地整備費】

#### 区間4

JR琵琶湖線上部拡幅工事費 67,771

#### 区間6

用地取得費 33,930

整備工事費 30,217

その他維持管理費等 32,518

### 【草津川跡地公園運営費】

草津川跡地公園指定管理料 104,600

その他事務費 6,042

# にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	(仮称)草津市立プール整備費			区分	継続	
令和5年度 事業費	担当部局・所属 建設部			プール整備事業推進室		
	財源内訳					
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
2,438,712	756,500	12,820	921,900	繰	734,000	13,492

## <事業の概要>

令和7年に開催の「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の水泳競技会場として、また、大会後においても「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」の実現を図るための施設として、(仮称)草津市立プールの整備を進めます。

令和5年度は、前年度に引き続き、供用開始に向けてプール施設の建設工事等を進めるとともに、運営面についても、事業者と連携し、開業に向けた準備を進めます。

## 【施設の概要】

整備予定地: 西大路町外地先  
 主な施設: 屋内プール(50m・25m・飛込)  
 屋内練習場(ドライランド)  
 観客席: 約2,500席(仮設席含む)



(仮称)草津市立プール 外観イメージ

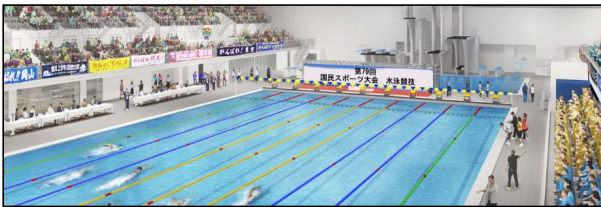
## 【PFIに係る全体想定スケジュール】

令和3年4月 事業契約締結  
 令和6年6月 供用開始  
 令和7年度 「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」開催

## <事業の目的・効果>

YMITアリーナ(くさつシティアリーナ)や野村運動公園、草津川跡地公園等の周辺施設との連携により、「健幸都市づくり」や「中心市街地活性化」の推進を図ります。交通利便性の高い立地を生かした広域的な利用に加えて、大規模大会の開催や合宿での利用等、年間を通じて幅広い利用が見込まれることから、本施設を核とした新たなにぎわいの創出や地域活性化が期待できます。

## 内観イメージ



50mプール



飛込プール



屋内練習場(ドライランド)

## 経費の内訳

PFIサービス購入料(建設工事等)	2,418,418
道路付替等整備費	10,054
PFIモニタリング業務委託費等	10,240

# にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	史跡草津宿本陣整備費			区分	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属 教育委員会			歴史文化財課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,005	4,000		3,200	繰 242	563

## <事業の概要>

国指定史跡である草津宿本陣は、平成元年度以降の大規模な保存整備工事を経て、現在、一般公開を行っています。

令和5年度は、令和3年度に策定した「史跡草津宿本陣整備基本計画」および令和4年度に作成した「史跡草津宿本陣整備基本設計」に基づき、「座敷部および住居台所部」、「厩(うまや)」の耐震に関する実施設計を行います。

## 【主な内容】

- ・実施設計(耐震補強)業務
- ・史跡草津宿本陣整備懇話会の開催

## <事業の目的・効果>

史跡草津宿本陣は本市を代表する歴史資産の1つであり、その整備を円滑に進めるため、整備基本計画および基本設計に基づいた実施設計を行い、魅力ある史跡の整備と公開活用を推進します。



史跡草津宿本陣

## 経費の内訳

実施設計費	7,128
史跡整備懇話会運営費等	877



# にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	史跡芦浦観音寺跡整備費			区分	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属 教育委員会			歴史文化財課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
31,138	10,039		6,000	繰 11,549	3,550

## <事業の概要>

「史跡芦浦観音寺跡整備基本計画」および令和4年度に作成した実施設計に基づき、境内北西部の造成工事を行うとともに、境内全体の植栽の伐採および倉の修理に関する実施設計を行います。また、所有者が実施する老朽化した国の重要文化財建造物の保存修理の支援を行います。

## 【主な内容】

### 史跡整備

- ・境内北西部の造成工事
- ・植栽の伐採および倉の修理に関する実施設計

### 重要文化財保存修理

- ・重要文化財建造物観音寺阿弥陀堂の屋根葺替に対する支援

## 【スケジュール】

### 史跡整備

- ・令和5～9年度:建造物整備、防災設備整備等

### 重要文化財保存修理への支援

- ・令和5年度:阿弥陀堂修理工事
- ・令和6年度:書院修理工事

## <事業の目的・効果>

本史跡の特色である「中近世の城郭を思わせる寺院」としての景観を顕在化する史跡整備を進め、貴重な歴史資産である本史跡を保存・継承し、学びや憩いの場、さらには観光資源として活用することで、まちの活性化を図ります。



重要文化財 観音寺阿弥陀堂

## 経費の内訳

造成工事費	6,011
実施設計費	13,333
史跡整備懇話会運営費等	763
環境整備費(除草等)	6,829
重要文化財整備補助金	4,202

# にぎわい・再生プロジェクト

(単位:千円)

事業名	資料館整備基本構想策定費			区分	新規
令和5年度 事業費	担当部局・所属 教育委員会			歴史文化財課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,802				繰 5,489	2,313

## <事業の概要>

本市の豊かな歴史文化を後世に継承し、貴重な文化財を保存活用していくため、信仰の歴史文化に関する歴史資産の展示、公開、活用する資料館の整備基本構想の策定を進めます。

## 【主な内容】

- ・整備基本構想の策定
- ・審議会開催

## 【整備基本構想の主な内容】

- ・施設の理念や目的、機能、規模等の基本的な方向性
- ・利用ターゲットや諸室の考え方
- ・展示テーマ、展示資料 など

## <事業の目的・効果>

信仰の歴史文化に関する資料館の整備基本構想を進めることにより、地域資産の素晴らしさを発信し、次世代へ守り、継承します。また、多様な活用を図ることにより、地域の魅力を掘り起こし、地域の活性化を図ります。

		経費の内訳	
<b>■信仰の歴史文化</b> 地域の人々の信仰と故郷を愛する思いによって守り伝えられてきた信仰の歴史文化が現在も受け継がれています。		整備基本構想策定業務委託費	7,480
		審議会運営費等	322



芦浦観音寺



草津のサンヤレ踊り

# 暮らしの安全・安心向上プロジェクト

(単位:千円)

事業名	子ども見守り防犯カメラ設置事業費			区分	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属 総合政策部			危機管理課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
23,260				繰 2,555	20,705

## <事業の概要>

子どもや女性を狙った声かけ、つきまとい、容姿撮影などの前兆事案を防止するため、犯罪が起こりやすい小・中学校通学路や利用者数が多い駅前周辺を中心に、令和4年度に引き続き、令和5年度も防犯カメラを重点配置します。

## 【スケジュール】

事業年度	設置台数	主要設置箇所
令和4年度	170台	(通学路、駅前) (令和5年1月運用開始)
令和5年度	約180台	(通学路、駅前) (令和5年10月運用開始予定)

## <事業の目的・効果>

小・中学校の通学路や駅前へ防犯カメラを設置することで、子どもや女性に対する犯罪の発生を未然に防止することや、万が一事件が発生した場合の早期解決を図ることにより、安全安心なまちづくりを実現します。



## 経費の内訳

防犯カメラ設置費	18,940
その他事務費	4,320

# 暮らしの安全・安心向上プロジェクト

(単位:千円)

事業名	個別避難計画作成費			区分	新規
令和5年度 事業費	担当部局・所属 総合政策部			危機管理課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,845					2,845

## <事業の概要>

災害時に自力で避難することが難しい高齢者や障害者等の「避難行動要支援者」について、「草津市避難行動要支援者避難支援プラン(全体計画)」に基づき、従来から取り組んでいた災害時要援護者登録制度を拡充し、居住地域の災害リスクや一人ひとりの身体状況などに応じて「誰とどこに避難するか」を具体的に定め、より実効的な避難を確保するための「個別避難計画」の作成を推進し、地域の防災力の向上を図ります。

## 【主な内容】

- ・協力団体へ制度説明の実施
- ・個別避難計画の作成優先度の高い人の選定
- ・作成対象者へ個別避難計画の作成同意の取得
- ・福祉専門職や地域の方と協力して個別避難計画の作成

## <事業の目的・効果>

高齢者や障害者の個別避難計画を作成することにより、地域の防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりを進めます。

当事者を含めた会議イメージ		経費の内訳	
 <p>地域と連携</p>		個別避難計画作成委託費	273
 <p>福祉専門職と協力して作成</p>		その他事務費	2,572

# 暮らしの安全・安心向上プロジェクト

(単位:千円)

事業名	草津栗東行政事務組合負担金(火葬場整備)		区分	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属		まちづくり協働部	
			生活安心課	
	財源内訳			
	国庫支出金	県支出金	市債	その他
92,614				92,614

## <事業の概要>

草津市と栗東市を構成市として、令和4年10月1日に設立した草津栗東行政事務組合において、新たな火葬場の整備に向けて取り組んでいます。

令和5年度は、令和4年度に引き続き、施設整備の方向性を示すための基本計画の策定や関連業務(PFI導入可能性調査、地質調査、造成設計、保安林解除申請業務等)および、施設周辺的生活環境や自然環境の調査、予測、分析、評価を行うための環境影響調査業務等を実施されることから、これらの取組が円滑に推進されるよう、組合および栗東市と連携して取り組みます。

## 【主な内容】

草津栗東行政事務組合が実施する火葬場整備に係る負担金

- ・基本計画策定他業務(令和4年度～令和6年度)
- ・環境影響調査業務(令和4年度～令和5年度)

## <事業の目的・効果>

草津栗東行政事務組合が整備する新たな火葬場において、将来の火葬需要に対応できる火葬炉の確保および必要な施設機能が整備できるよう、組合および栗東市とともに取り組みます。



現在の草津市営火葬場

## 経費の内訳

草津栗東行政事務組合負担金	92,614
---------------	--------

# 暮らしの安全・安心向上プロジェクト

(単位:千円)

事業名	ゼロカーボンシティくさつ推進費			区分	拡大
令和5年度 事業費	担当部局・所属 環境経済部			温暖化対策室	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
48,319	9,149	604	繰	15,963	22,603

## <事業の概要>

令和3年12月17日に、市議会と共同で、草津市気候非常事態(ゼロカーボンシティ)宣言を行ったことを契機に、ゼロカーボンシティくさつの実現に向けた各種施策を展開します。

## 【新規事業】

### ・エコオフィスの推進

公共施設のLED照明の計画的な導入に向けて、各施設照明の現況調査を行った上で、最適なLED導入手法等の事業スキームを策定します。

また、公共施設の太陽光発電設備導入に向けた可能性調査やクリーンセンターのごみ発電の余剰電力を利活用するための検討を行い、再生可能エネルギー等の利活用を推進します。

### ・地域脱炭素の推進

国の地域脱炭素支援スキームを活用し、地域脱炭素を推進します。

## 【継続事業】

### ・地球冷やしたいプロジェクトの推進

### ・スマート・エコハウス普及促進費補助金

補助対象設備:太陽光発電設備や高効率給湯設備などのスマート・エコ製品  
(1世帯当たり上限10万円)

### ・ごみ問題を考える草津市民会議への活動費の補助

### ・生ごみ処理容器購入に対する補助


## <事業の目的・効果>

ゼロカーボンシティくさつ実現のため、草津市地球温暖化対策実行計画(事務事業編、区域施策編)に定める事業を中心として、公共施設の温暖化対策を実施しながら、市域全体の「脱炭素社会への転換」に向けた取組を推進します。

経費の内訳		
<p>STOP 地球温暖化 愛する地球を、 ミライへ。</p> <p>草津市はゼロカーボンシティを めざしています</p>	【新規事業】	
	公共施設照明現況調査費	19,800
	再エネ等利活用調査費	12,199
	地域脱炭素事業費	6,974
	その他事務費	149
	【継続事業】	
	地球冷やしたいプロジェクト推進費	2,859
	スマート・エコハウス普及促進費	
	補助金	2,574
	ごみ問題を考える草津市民会議	
	活動費補助金	1,914
	生ごみ処理容器購入費補助金	1,850

# 暮らしの安全・安心向上プロジェクト

(単位:千円)

事業名	指定ごみ袋制度見直し事業費、ごみ袋無料配布等事業費		区分	新規	
令和5年度 事業費	担当部局・所属	環境経済部	資源循環推進課 障害福祉課・介護保険課 子育て相談センター		
		健康福祉部 子ども未来部			
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
109,520				使 53,434	56,086
<p>＜事業の概要＞ 令和5年10月1日から、国の方針を踏まえ、焼却ごみ袋の取り扱いを変更するとともに、袋の大きさについて、3種類のサイズを設けます。 また、制度の見直しにあたり、更なるごみの減量・リサイクルの促進、不法投棄対策や適正排出に向けた環境整備等の充実を図ります。 一方で、紙おむつ等についてはごみの減量が困難であるため、福祉・子育て支援施策として、焼却ごみ袋の一定枚数無料配布等により、経済的負担を軽減します。</p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみ処理容器購入費補助金の補助上限額の引き上げ</li> <li>・資源回収活動推進奨励金の補助単価の引き上げ</li> <li>・古紙類の収集日の統合</li> <li>・不法投棄パトロールの体制強化、不法投棄監視カメラの購入</li> <li>・ごみ集積所整備事業補助金の増額</li> <li>・福祉・子育て支援施策としての焼却ごみ袋一定枚数無料配布(障害者・子育て世帯のうち対象となる世帯)、すっきりさわやかサービス事業(紙おむつ支給)にかかる焼却ごみ袋一定枚数無料配布相当額の割引券の配布(要介護世帯のうち対象となる世帯)</li> </ul> <p>＜事業の目的・効果＞ 国の方針を踏まえ、ごみの排出量に応じた負担の公平性に基つき、ごみ袋の価格を見直し、ごみの排出抑制や再生利用、意識改革を進めるとともに、SDGs(持続可能な開発目標)の理念を踏まえ、資源循環型社会の構築や脱炭素社会の実現につなげます。 また、紙おむつ等が常時必要な世帯に対して、経済的負担の軽減を図ります。</p>					
		<b>経費の内訳</b>			
		指定ごみ袋購入費	69,316		
生ごみ処理容器購入費補助金	1,850				
資源回収活動推進奨励金	15,836				
古紙類収集促進費	2,866				
不法投棄パトロール等強化費	5,229				
ごみ集積所整備事業補助金	3,000				
制度見直し周知啓発費	9,798				
ごみ袋無料配布等事業費	1,625				

# 暮らしの安全・安心向上プロジェクト

(単位:千円)

事業名	大路野村線整備費			区分	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属 建設部			道路課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
525,221	254,800		229,400	繰 25,000	16,021

## <事業の概要>

市道大路野村線は県道下笠大路井線、都市計画道路大江霊仙寺線といった交通量が多い道路と接道しており、それらが交差する西大路南交差点では右折レーンが無い等の理由から、交通混雑が常態化しています。

今後は、野村運動公園等の周辺環境の変化に伴い、より混雑が高まることが予想されるため、安全な道路空間を確保する目的で、拡幅・整備を行います。

## 【整備内容】

大路野村線道路整備 延長=140m 幅員12~15m

## 【実施内容】

- ・建物等補償
- ・用地買収
- ・道路整備工事

## <事業の目的・効果>

野村運動公園等の周辺環境の変化に伴う交通量の増加により、接道する下笠大路井線や大江霊仙寺線、それらが交差する西大路南交差点の交通混雑の悪化が見込まれるため、道路改良を行うことで、安全な道路空間の確保を図ります。

	経費の内訳	
	建物等補償費	385,257
	補償調査再積算業務委託費	4,576
	用地取得費	101,035
	不動産鑑定手数料	1,000
	事業認定申請業務委託費	9,669
	道路整備工事費	23,500
	その他事務費	184



# 暮らしの安全・安心向上プロジェクト

(単位:千円)

事業名	大江霊仙寺線(南笠工区)整備費			区分	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属 建設部			道路課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,803					5,803

## <事業の概要>

都市計画道路大江霊仙寺線のうち、令和5年に供用する区間(約390m)の先線となる都市計画道路平野南笠線の接続点までの整備を進め、南北の幹線道路としてJR南草津駅周辺の渋滞緩和や大津方面への交通アクセスの確保を図ります。

## 【整備内容】

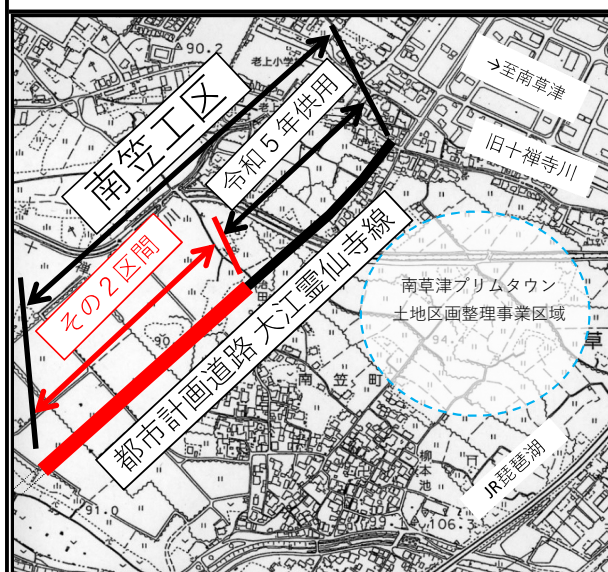
都市計画道路整備 延長=約530m 幅員=16m

## 【実施内容】

・その2区間 事業認可申請業務

## <事業の目的・効果>

南北の幹線道路を整備することにより、JR南草津駅周辺の渋滞緩和や大津方面への交通アクセスの確保を図ります。



## 経費の内訳

事業認可申請業務委託費	4,994
その他事務費	809

# 暮らしの安全・安心向上プロジェクト

(単位:千円)

事業名	ロクハ浄水場浸水対策費			区分	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属 上下水道部			ロクハ浄水場	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
32,890				繰 16,400	16,490

## <事業の概要>

ロクハ浄水場および関係施設のうち、浸水が想定される区域に位置している施設の浸水対策を行います。

## 【施設概要】

(ロクハ浄水場) 施設能力:35,600m<sup>3</sup>/日

## 【事業年度計画】

令和5年度 :ロクハ浄水場旧館等浸水対策工事

令和6年度以降:2段取水ポンプ場等の浸水対策工事

## <事業の目的・効果>

水道事業の主要施設である浄水場および関係施設のうち、浸水が想定される区域に位置している施設の浸水対策を行うことで、災害に強いライフラインを確保し、市民への水道水の安定供給を図ります。



ロクハ浄水場

## 経費の内訳

ロクハ浄水場旧館等浸水対策工事費	32,890
------------------	--------

# 暮らしの安全・安心向上プロジェクト

(単位:千円)

事業名	北山田浄水場耐震補強・浸水対策費			区分	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属 上下水道部			北山田浄水場	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
495,307				繰 122,000	373,307

## <事業の概要>

本市では、大規模な震災被害からライフラインを守り、水道水の安定供給を図るため、浄水施設の耐震補強を進めています。令和元年度にロクハ浄水場の耐震化が完了したため、引き続き令和2年度から北山田浄水場の耐震補強を進めており、併せて浸水対策を行います。

## 【施設概要】


(ロクハ浄水場) 施設能力:35,600m<sup>3</sup>/日 耐震化完了  
 (北山田浄水場) 施設能力:19,950m<sup>3</sup>/日

## 【事業年度計画】

令和4年度～令和6年度 : 北山田浄水場配水池耐震補強工事  
 (配水池耐震補強、浸水対策工事)

## <事業の目的・効果>

水道事業の主要施設である浄水場の耐震補強工事および浸水対策を行うことで、災害に強いライフラインを確保し、市民への水道水の安定供給を図ります。

		経費の内訳	
 <p>北山田浄水場</p>	配水池耐震補強工事費		488,300
	配水池耐震補強工事監理費		7,007

# 行財政マネジメント

(単位:千円)

事業名	第6次総合計画第2期基本計画策定費			区分	新規
令和5年度 事業費	担当部局・所属   総合政策部			企画調整課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
762					762

＜事業の概要＞

第6次草津市総合計画第1期基本計画が、令和6年度で計画最終年度を迎えることから、引き続き、将来ビジョンである「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津」をめざし、市の諸施策を総合的に推進するため、令和5年度・令和6年度の2か年で第6次草津市総合計画第2期基本計画(令和7年度～令和10年度)の策定に取り組みます。

【主な内容】

令和5年度


- ・策定方針の決定、草津市総合計画審議会の開催、計画策定支援業務委託、高校生アンケート・転出入者アンケートの実施、草津市総合計画策定市民会議の開催 など

令和6年度

- ・草津市総合計画審議会の開催、草津市総合計画策定市民会議の開催、パブリックコメントの実施、タウンミーティングの実施 など

＜事業の目的・効果＞

将来ビジョンである「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津」と、まちづくりの基本目標に基づき、各分野・基本方針の主要な施策、達成すべき目標や指標などを明らかにした、第6次草津市総合計画第2期基本計画を策定し、総合的かつ計画的な市政運営を行います。

		経費の内訳
		総合計画審議会運営費 441
		総合計画策定市民会議運営費 206
		その他事務費 115
		(債務負担行為)
		令和6年度
		計画策定支援業務委託費 9,300

# 行財政マネジメント

(単位:千円)

事業名	DX・ICT等利活用推進費		区分	拡大
令和5年度 事業費	担当部局・所属	総合政策部 まちづくり協働部 健康福祉部 都市計画部	経営戦略課 市民課 介護保険課 公共建築課	
		財源内訳		
	国庫支出金	県支出金	市債	その他
38,818	24,466			14,352

## ＜事業の概要＞

本市は、「スマート自治体滋賀モデル研究会」に参画し、ICTを活用した施策についての情報収集、意見交換、調査、実証等に取り組んできました。

令和5年度は、草津市情報化推進計画(令和2年度～令和6年度)に基づき、市民サービスの向上と地域社会の維持・発展、さらに行政サービスの効率化を進めるため、行政手続のオンライン化やマイナンバーカードの普及促進等に取り組むとともに、時代の変化に対応した最適な行政サービスの実現を図ります。

## 【主な内容】

- ・電子申請システムの運用・拡大(LINE連携等)
- ・DX戦略調査業務
- ・ビジネスチャットの運用・拡大
- ・マイナンバーカードの普及促進
- ・公共建築工事情報共有システムの導入・運用
- ・介護認定に係る訪問調査システムの導入・運用

## ＜事業の目的・効果＞

ICT等を活用した行政のデジタル化を進めることにより、市民サービスの向上と地域社会の維持・発展、さらに行政サービスの効率化を進めます。

		経費の内訳
  		<b>【一般会計】</b> 電子申請システム運用費 3,559 DX戦略調査業務委託費 2,002 ビジネスチャット運用費 4,848 マイナンバーカード申請 サポート推進費 21,000 公共建築工事情報共有システム 導入・運用費 477
		<b>【介護保険事業特別会計】</b> 訪問調査システム導入・運用費 6,932

# 行財政マネジメント

(単位:千円)

事業名	公共施設包括管理業務費			区分	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属 総務部			総務課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
153,804					153,804

## <事業の概要>

庁舎や小中学校、図書館などの施設について、これまで施設ごとに行ってきた、各種点検や修繕等の維持管理に係る業務の担当部署を一つにまとめ、一括して管理業務を委託することにより、市有財産の維持管理業務の効率化、維持管理水準の向上と統一化を図る公共施設包括管理業務の取組を開始します。

## 【業務内容】

- ①各種点検、保守管理業務(99施設) ②簡易な修繕業務(130万円未満/件)(58施設)  
③計画的に実施する修繕業務(1,000万円未満/件)(133施設) ④巡回点検(133施設)

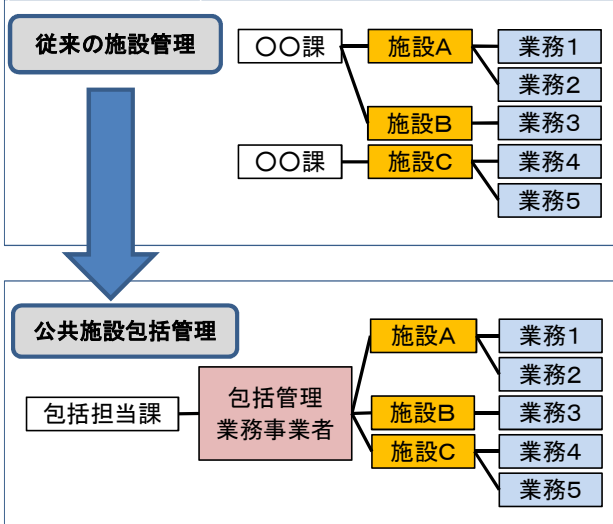
## 【業務期間】

令和5年4月～令和10年9月末 包括管理業務を実施  
(令和5年4月から市役所庁舎総合管理、令和5年10月から全ての包括管理業務対象施設の包括管理業務を実施)

## <事業の目的・効果>

- 公共施設の維持管理を、建物管理のノウハウを有する民間事業者へ包括的に委託することで、業務の効率化、施設の維持管理水準の向上と統一化を図ります。
- 各施設を管理する各課が行ってきた点検、修繕などを一括して発注することにより管理業務の軽減を図り、職員の人件費が縮減できます。
  - 専門事業者による高品質な管理が全施設、同一水準で実施できます。
  - 施設の状況を統括的に把握できるため、より適正な施設マネジメントが可能となります。
  - 市内事業者を積極的に活用することで、地域経済の循環・活性化が期待できます。

## <イメージ図>



## 経費の内訳

### 【令和5年度包括管理委託費】

①各種点検、保守管理業務	114,095
②簡易な修繕業務	10,382
③計画的に実施する修繕業務(※)	0
④巡回点検、マネジメント費	29,327

※計画的に実施する修繕業務は令和6年度から実施します。

# 行財政マネジメント

(単位:千円)

事業名	事務事業の整理合理化			区分	継続
令和5年度 事業費	担当部局・所属 総合政策部			経営戦略課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
△ 13,748	△ 44			使 諸 27,173 △ 10,304	△ 30,573

## <事業の概要>

令和3年度から取組を開始した草津市行政経営改革プラン(令和3年度～令和6年度)に掲げるアクション・プラン「事務事業の点検とBPR(Business Process Re-engineering)(※1)手法を活用した業務の見直し」に基づき、社会状況の変化による課題等を踏まえながら、各部局の主体的なマネジメントによる事務事業の点検を引き続き実施することや、「業務見直し工程表(スクラップロードマップ)(※2)の活用による既存事業や業務の見直し」に基づき、相対的に必要性が低いと判断された事業等について、優先的に廃止、縮小、手法の見直しを検討し、事業の再構築や実施手法の最適化を進め、厳しい財政状況に鑑み、限られた人員と財源の戦略的な資源配分を図ります。

### ※1【BPR(Business Process Re-engineering)】

業務プロセスについて、分析・評価・改善を行うことを通じて、抜本的な業務効率化と利便性向上を実現する取組のこと。

### ※2【業務見直し工程表(スクラップロードマップ)】

事業等の抜本的な見直しの徹底(廃止だけでなく、既存事業の統合や見直し等による事務事業の効率化を含む)と、将来を見越した「選択と集中」を推進するための手法(ツール)として、事業の課題整理や手法の検討、関係者等への説明を計画的に進めていくために工程表を策定したものの。

## <事業の目的・効果>

市民ニーズの多様化・複雑化や高齢化等による社会保障関係経費の増加、公共施設やインフラの老朽化対策、また、将来必ず訪れる人口減少への対応等、課題が山積している中で、人員や財源には限りがあることから、市民、地域、団体、企業、行政等の多様な主体が役割を分担し、最適な公共サービスを提供する持続可能な共生社会の構築を目指します。

経費の内訳	
	駐輪場巡回啓発委託業務 等 事業、業務の廃止 7件 △ 6,801 (一般財源△6,104)
	AI-OCR 等 事業、業務の見直し 19件 △ 6,947 (一般財源△24,469)
	※内数 上記の廃止、見直しのうち 業務見直し工程表(スクラップ ロードマップ)に関するもの 8件 11,249 (一般財源△15,227)

ありがとう



草津市公認マスコットキャラクター  
まる  
たび丸